令和６年度
市民アンケート調査報告書

調査期間：令和６年５月７日～５月２１日

南アルプス市　総合政策部　政策推進課

目　次

第1章　調査の概要 3

１ 調査の目的 3

２ 調査の内容 3

３ 調査仕様 4

４ 回収結果 4

５ 前回調査までの経緯と状況 4

６ 結果の活用 6

７ 報告書の見方 6

第2章 「市民アンケート調査」結果 8

１ 基本属性 8

２ 市民アンケート質問項目の推移 12

３ 分野別でみる調査結果 20

◇第2次総合計画の政策体系 20

◇グラフの表示 20

はじめに　～市内の一体感 21

政策1　安全でみどり豊かな　人がつながるまちの形成 22

（1）　地域活動 22

（2）　市民参加 22

（3）　防災・防犯 23

（4）　自然・環境 24

政策2　ともに生き支えあうまちの形成 25

（1）多様性の尊重 25

（2）社会福祉 26

（3）子育て支援 27
（4）健康・医療 28
政策3　うるおいと活力のある快適なまちの形成 29
（1）農業・商業 29
（2）　道路・交通 30
（3）都市計画・住環境 30
（4）水道 31
政策4　心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成 32
（1）生涯学習 32
（2）歴史・伝統文化 33
（3）教育 33
政策5　未来をひらく経営型行政運営の形成 34
（1）　行政サービス 34
（2）窓口・接遇 35
その他 36
第3章 「元気券事業に関する調査」結果 37
第4章 「市民の幸福度に関する調査」結果 38
◆設問一覧 41

第２次南アルプス市総合計画　将来像

自然と文化が調和した幸せ創造都市　南アルプス

―魅力ある地域資源を活かした　自立のまち―

第１章　調査の概要

１ 調査の目的

南アルプス市では、総合計画に基づき、総合的かつ計画的にまちづくりを推進しています。「市民アンケート調査」は、市が取り組んできた施策や事務事業に対する市民の満足度や、市民の日頃の行動・意識などを把握することで、総合計画策定のデータ収集と計画期間中の進捗管理を行い、さらに、行政サービスの改善につなげることを目的に実施しています。

また、毎年調査を実施することにより、１年間の取組の成果や市民ニーズの変化を的確に捉え、必要とされる施策と事務事業を推進し、“第２次総合計画”に掲げる市の将来像『自然と文化が調和した幸せ創造都市 南アルプス―魅力ある地域資源を活かした 自立のまち―』の実現を目指します。

２ 調査の内容

調査の内容は、総合計画の進捗管理を行うために継続した設問を基本としていますが、基本計画策定時を中心に、社会環境の変化に応じた見直しを行っています。

令和６年度の調査内容は、次のとおりです。

設 問 項 目	設問数	調　査　内　容
属性調査	6	性別、年齢、家族構成、職業、居住地区、居住年数
市民アンケート調査	74	市の施策、事業や、日頃の生活などについて広く調査
合　計	80	
※元気券事業に関する調査	2	※元気券事業（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）に係る効果検証
※幸福度に関する調査	4	※市民の幸福度に関する検証

３ 調査仕様

仕様項目	仕　　様
調査地域	南アルプス市全域
調査対象者	市内に住民登録のある18歳以上の男女
調査基準日	令和6年4月1日
標本数	1,500人
抽出方法	層化無作為抽出 ※市内を６地区に分割し、令和6年4月1日の各地区の人口（母集団）の大きさに応じ標本数を配分し、住民基本台帳から無作為抽出。
調査方法	郵送による配布、調査票回答又はWEB・専用フォームでの回答
調査期間	令和6年5月7日から令和6年5月21日まで

標本数の地区配分は、各地区の人口の大きさに応じて行っていますが、過疎地域である芦安地区の標本数が総人口の１%以上となるよう、調整しています。

※６地区の人口と標本数の配分　　（人口:令和6年4月1日現在）

	八田	白根	芦安	若草	櫛形	甲西	計
人口(人)	6,980	19,274	224	13,856	18,811	12,422	71,567
構成比(%)	9.8	26.9	0.3	19.4	26.3	17.4	100.0
標本数(人)	145	400	18	288	391	258	1,500
構成比(%)	9.7	26.7	1.2	19.2	26.1	17.2	100.0

４ 回収結果

有効回答	643	（42.9%）

※地区別有効回答

	八田	白根	芦安	若草	櫛形	甲西	記入無	合計
回収数(件)	50	174	7	115	170	109	18	643
構成比(%)	7.8	27.1	1.1	17.9	26.4	17.0	2.8	100.0
回収率(%)	34.5	43.5	38.9	39.9	43.5	42.2	－	42.9

５ 前回調査までの経緯と状況

「市民アンケート調査」は、６町村が合併して南アルプス市が誕生した平成 15 年度に“第１次総合計画”策定のためのデータ収集を目的として初めて実施し、以後、平成 20

年度まで隔年で実施、平成 21 年度からは、市民アンケートの結果を総合計画の進捗管理と行政評価に活用するため、毎年実施しています。

年度	市民アンケート調査						総合計画
	回	調査期間	標本数	調査項目（属性調査含む）	有効回答	回収率	
平成15年度	第1回	平成15年10月6日 ～ 平成15年10月31日	2,000人	30項目	859件	43.0%	第１次総合計画策定
平成17年度	第2回	平成17年9月7日 ～ 平成17年9月28日	1,500人	68項目	631件	42.1%	
平成19年度	第3回	平成19年9月25日 ～ 平成19年10月19日	1,500人	87項目	670件	46.7%	
平成21年度	第4回	平成21年5月20日 ～ 平成21年6月8日	1,500人	117項目	616件	41.1%	第１次総合計画後期基本計画策定
平成22年度	第5回	平成22年6月2日 ～ 平成22年6月21日	1,500人	68項目	586件	39.1%	
平成23年度	第6回	平成23年6月1日 ～ 平成23年6月20日	1,500人	79項目	592件	39.5%	
平成24年度	第7回	平成24年6月1日 ～ 平成24年6月18日	1,500人	74項目	657件	43.8%	
平成25年度	第8回	平成25年5月24日 ～ 平成25年6月10日	1,500人	75項目	643件	42.9%	
平成26年度	第9回	平成26年5月23日 ～ 平成26年6月9日	1,500人	79項目	633件	42.2%	第２次総合計画策定
平成27年度	第10回	平成27年5月22日 ～ 平成27年6月8日	1,500人	95項目	604件	40.3%	
平成28年度	第11回	平成28年5月23日 ～ 平成28年6月6日	1,500人	95項目	621件	41.4%	
平成29年度	第12回	平成29年5月22日 ～ 平成29年6月5日	1,500人	95項目	622件	40.9%	
平成30年度	第13回	平成30年5月9日 ～ 平成30年5月23日	1,500人	95項目	602件	40.1%	
平成31年度	第14回	平成31年3月18日 ～ 平成31年4月10日	2,000人	69項目	888件	44.4%	第２次総合計画後期基本計画策定
令和2年度	第15回	令和2年6月8日 ～ 令和2年6月25日	1,500人	81項目	692件	46.1%	
令和3年度	第16回	令和3年5月10日 ～ 令和3年5月24日	1,500人	83項目	708件	47.2%	
令和4年度	第17回	令和4年5月9日 ～ 令和4年5月23日	1,500人	146項目	701件	46.7%	
令和5年度	第18回	令和5年5月8日 ～ 令和5年5月22日	1,500人	82項目	704件	46.9%	
令和6年度	第19回	令和6年5月7日 ～ 令和6年5月21日	1,500人	86項目	643件	42.9%	第３次総合計画策定

第１次総合計画

第２次総合計画

６ 結果の活用

“第２次総合計画”の進捗状況を測る“まちづくり指標”に該当する項目を調査し、行政評価のデータとして活用することで、マネジメントサイクル（ＰＤＣＡサイクル）による進捗管理を行い、行政サービス改善の資料として活用します。また、本報告書を継続的に公表することで、行政の透明性の確保を図ります。

７ 報告書の見方

（１） 集計方法

◆ 本調査では、有効回答総数を集計した「単純集計」のほか、居住地区などの属性ごとに区分して集計した※「クロス集計」を行っています。

※「クロス集計」については、項目によっては有効回答数が少なく、本調査の結果では本市全体における傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

◆ 回答比率（%）は原則として、その設問の無回答者を含む回答者数を基数（有効回答）として算出しています。無回答者を含まない場合は、その旨記載しています。

（２） 数値の端数処理方法

本文及び図表の百分率（%）は、小数点以下第２位を四捨五入して端数処理を行っています。したがって、合計数値が 100%にならない場合や、内訳の合計や差が表示されている値と一致しない場合があります。

また、グラフの数値は、文中や他の図表の数値と一致しない場合があります。

（３） 表記

◆ 単一回答（Single Answer）は「ＳＡ」、有効回答数（number）は「ｎ」と表記します。ただし、※本調査の設問は単一回答で、有効回答総数は 643 であるため、設問ごとのこれらの表記は、省略している場合があります。

◆ 無回答者を含まない回答比率（%）を算出した場合や、クロス集計を行った場合は、その集計の有効回答数（number of case）を「ｎ」で示しています。

◆ これまでの調査結果の推移を示す図表では、調査年度ごとの有効回答数は省略しています。

◆ 無回答は、「記入無」と表記しています。

◆ 図表や本文中の設問・選択肢の表記は、簡略化している場合があります。

◆ 元号は、平成をＨ、令和をＲと表記する場合があります。

第２章　「市民アンケート調査」結果

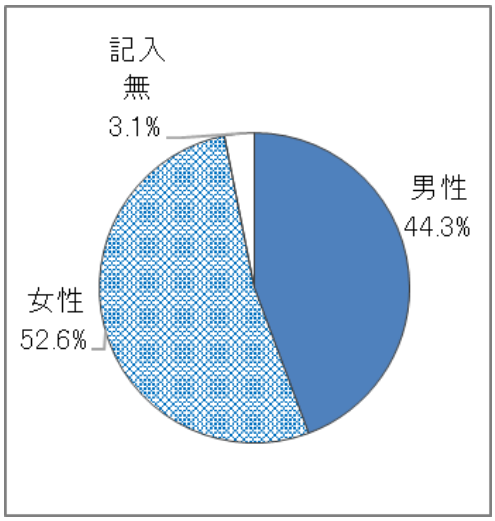
１　基本属性

Ｆ１　性別

（ＳＡ、ｎ＝643）

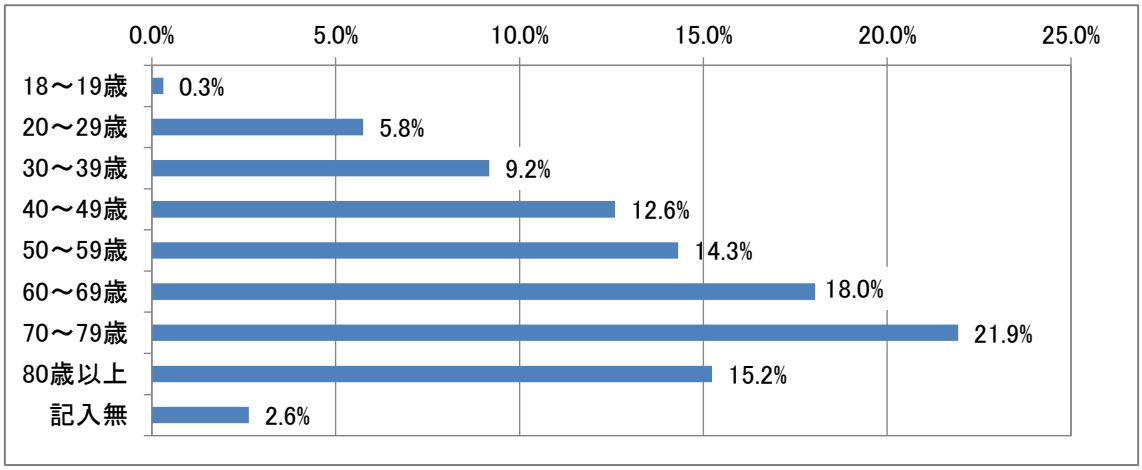
回答者の性別は、「男性」が 44.3%、「女性」が 52.6%でした。なお、「記入無」が 3.1%でした。

基準日の人口における男女比率は、男性 49.6%、女性 50.4%とほぼ５割ずつですが、回答者の男女比率は、第１回から一貫して女性の割合が高く、今回も女性の回答者が男性の回答者を 8.3ﾎﾟｲﾝﾄ上回っています。



Ｆ２　年齢

（ＳＡ、ｎ＝643）

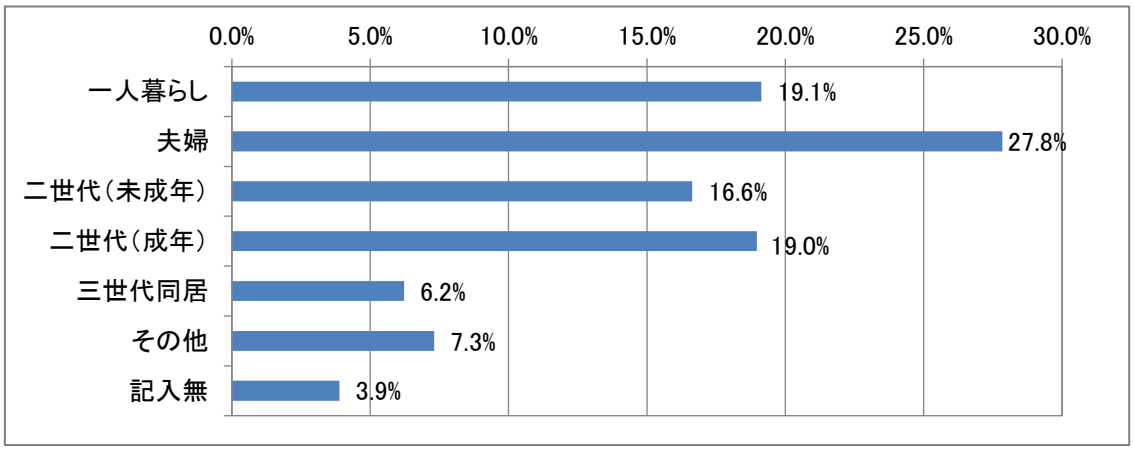


回答者の年齢層の構成は、「70～79 歳」が最も多く 21.9%、次いで「60～69 歳」が 18.0%、「50～59 歳」が 14.3%、「40～49 歳」が 12.6%でした。

第１回から第４回の調査では 50 歳代が最も多く、第５回は 30 歳代が最多でしたが、平成 23 年度の第６回調査以降は 60～70 歳代が最も多く、20%前後で推移しています。

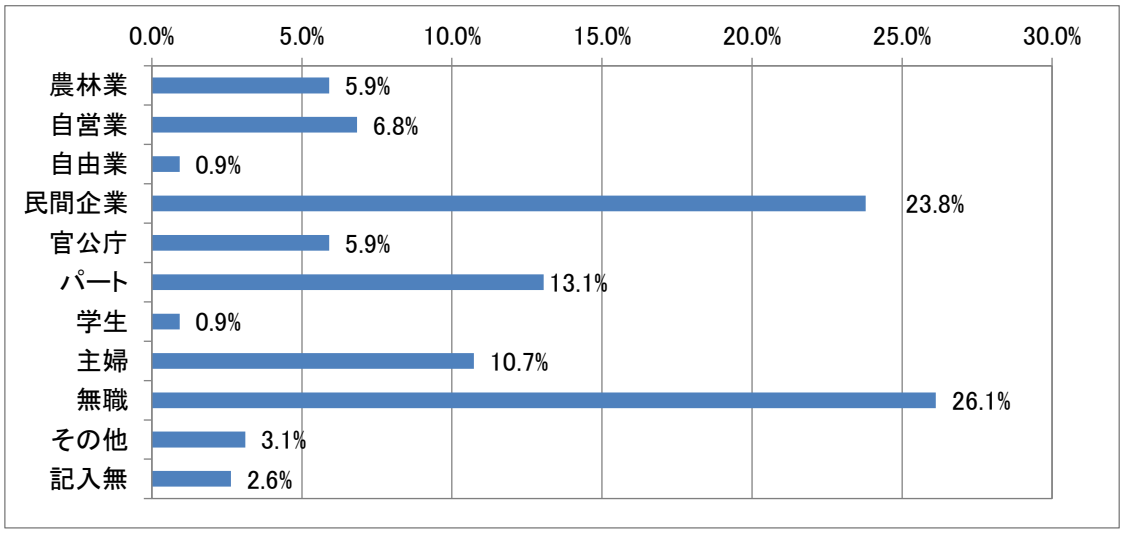
また、平成 29 年度の第 12 回調査以降、60 歳以上の回答者が全体の半数近くを占めています。

Ｆ３　家族構成　　（ＳＡ、ｎ＝643）



回答者の家族構成は、「夫婦」が(27.8%)と最も多く、次いで「一人暮らし」が 19.1%、続いて「成年の子との二世代同居」(19.0%)となり、この３つの家族構成で６割以上を占めました。今年度は「一人暮らし」の回答が昨年度の 9.8%から、約 2 倍増となっている。

Ｆ４　職業　　（ＳＡ、ｎ＝643）



回答者の職業は、「民間企業」が最も多く 23.8%、続いて「無職」(26.1%)、「パート」(13.1%)、「主婦」(10.7%)の順でした。この４項目で全体の７割以上を占めています。

職業分類は、前回に続いて今回も「民間企業」が最も多い結果でした。「民間企業」と答えた方の 66.0%が男性の回答者であり、「パート」と答えた方の 83.3%が女性の回答者でした。

また、「無職」は平成 15 年度が 14.9%、平成 17 年度が 16.6%で、平成 24 年度以降は 17%程度を推移しています。今年度については 26.1%と高い数値になっている。なお、「無職」と答えた方の年齢は、60 歳以上が９割程度を占めています。

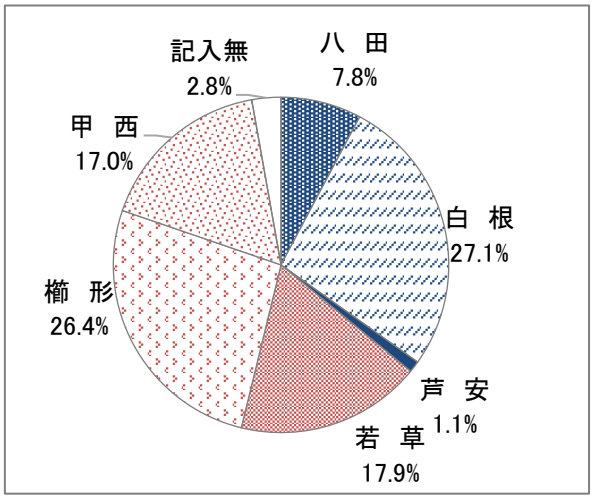
「農林業」と答えた方の 81.5%は 60 歳以上の方でした。

◆職業分類の詳細

職業分類	詳　　細
農林業	農業・林業
自営業	自営の商・工・サービス業（建設業、家族従業員を含む。）
自由業	開業医・弁護士・税理士・僧侶など
民間企業	民間企業・事務所の会社員、従業員
官公庁	官公庁・学校・公社公団・JAなど公共的機関の職員
パート	パート・アルバイト・内職
学　生	高校生・大学（院）生・専門学校生など
主　婦	主婦・主夫

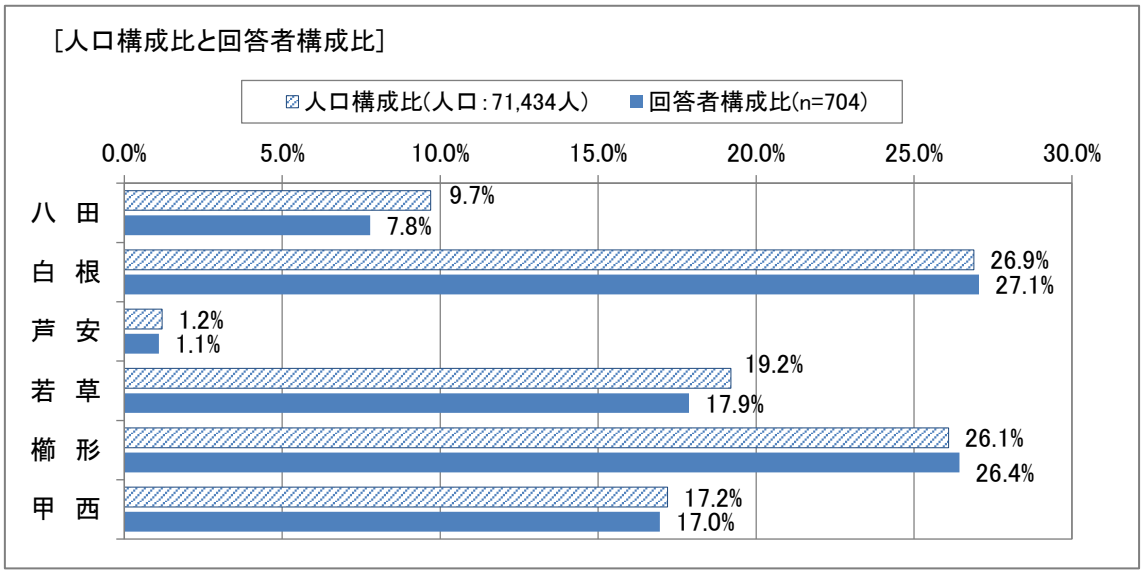
Ｆ５　居住地区

（ＳＡ、ｎ＝643）



回答者の居住地区は「白根地区」(27.1%)が最も多く、次が「櫛形地区」(26.4%)で、この２地区を合わせると全体の半数以上を占めています。

続いて「若草地区」(17.9%)、「甲西地区」(17.0%)の２地区がそれぞれ約２割、「八田地区」が 7.8%、過疎地域に指定されている「芦安地区」が 1.1%でした。

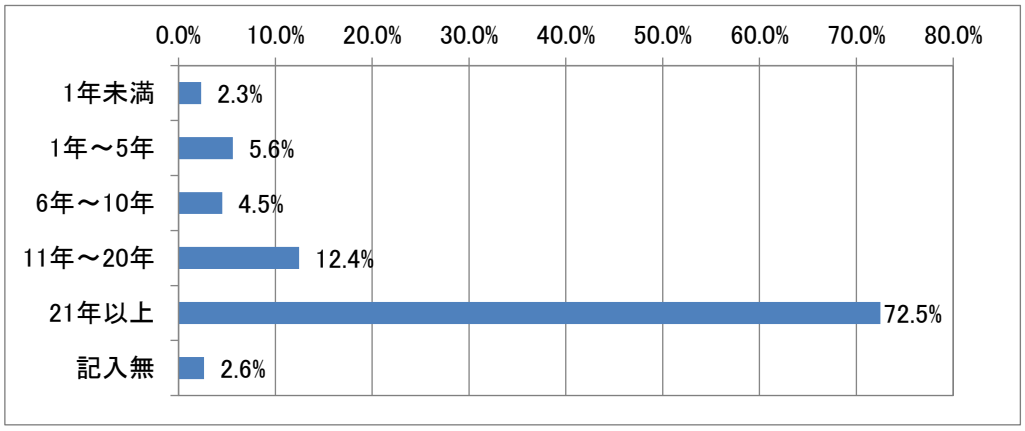


居住地区別に、基準日における人口の構成比と回答者の構成比を比較すると、八田地区の 1.9ﾎﾟｲﾝﾄ差が最大で、どの地区も大きな差はありませんでした。

本調査は地区別（旧町村単位）の人口に応じて標本数を配分する仕様となっているため、居住地区別での人口構成比と回答者構成比は、例年、近似した結果となっています。

Ｆ６　居住年数

（ＳＡ、ｎ＝643）



回答者の居住年数は、「21 年以上」が圧倒的に多く 72.5%、次いで「11 年～20 年」の 12.4%、続いて「１年～５年」の 5.6%、「６年～10 年」の 4.5%、「１年未満」の 2.3%の順でした。

近年の調査では、11 年以上居住している回答者が８割を超える割合となっています。

２ 市民アンケート質問項目の推移

◇市民アンケート調査の結果は、行政評価において、前年度の取組の実績値とします。

◇質問内容は見直しを行っているため、内容が変わったものなどは「※」で補足説明をしています。

◇前年の値が「－」となっているものは、当該年に新たに追加した質問です。

【選択肢】　・肯定的回答を実績値とします。

区分	肯定的		中立	否定的	
№1～57　5択	あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	あてはまらない
№58～65　3択	知っている	－	聞いたことがある	－	知らない
№66～73　2択	はい	－	－	－	いいえ
№74　2択	本庁　／　支所　　（両方の結果を掲載）				

【結果】　　ｎ＝643（№47,48,69 を除く）

No.	質問内容	H30 （H29 実績）	R1 （H30 実績）	R2 （R1 実績）	R3 （R2 実績）	R4 （R3 実績）	前回 （R4 実績）	**今回 （R5 実績）**
1	令和6年4月1日で南アルプス市誕生（合併）から21年となります。市内の一体感が図られたと感じますか。	19.3%	32.7%	33.5%	39.6%	40.8%	40.6%	**43.9%**
2	南アルプス市に愛着を感じていますか。 ※R3から追加	－	－	－	78.7%	77.5%	71.9%	**76.7%**
3	自治会（地域コミュニティ）の活動やイベントなどに満足していますか。	39.0%	34.8%	33.5%	32.6%	31.8%	33.2%	**37.3%**
4	あなた自身またはご家族のどなたかが、自治会などの地域活動に参加していますか。	52.5%	66.4%	66.6%	66.4%	68.5%	61.7%	**62.5%**
5	自治会などの地域活動により、地域が活性化していると感じますか。	－	32.7%	36.4%	34.5%	33.2%	31.1%	**33.8%**

6	市から必要な情報を入手できていますか。 ※R4から追加	－	－	－	－	55.2%	54.6%	**56.1%**
7	「広報南アルプス」の内容は、わかりやすいですか。 ※H30まで「満足していますか」	59.6%	62.7%	59.8%	61.9%	65.3%	64.4%	**64.7%**
8	南アルプス市のホームページの内容は、わかりやすいですか。 ※H30まで「満足していますか」	34.6%	37.6%	37.9%	39.4%	38.9%	42.3%	**38.7%**
9	CATVの行政番組の内容に満足していますか。	33.2%	32.0%	26.6%	27.7%	29.2%	27.3%	**28.8%**
10	まちづくりに関心がありますか。	－	56.6%	54.3%	50.7%	52.6%	55.1%	**53.5%**
11	街路灯や防犯灯の設置、青色パトロールカーの巡回などの防犯対策に満足していますか。	44.7%	44.0%	43.9%	43.5%	44.5%	40.6%	**40.6%**
12	住んでいる地域は、水害の心配はないと思いますか。	55.8%	50.9%	48.0%	52.4%	49.5%	49.3%	**47.7%**
13	地震や水害等の災害に備えて、備蓄や避難所の確認などを行なっていますか。 ※H30まで「地震等の災害」	52.2%	59.5%	61.1%	63.4%	59.6%	56.0%	**57.4%**
14	省エネに取り組んでいますか。	－	66.2%	71.2%	68.6%	69.2%	73.2%	**67.0%**
15	南アルプスの自然は、守られていると思いますか。 ※H30まで「山林や緑地、河川など市内の自然環境は良好に保たれていると感じますか。」	55.3%	53.4%	59.4%	56.8%	58.9%	57.5%	**58.6%**
16	家庭内で男女差別を感じていますか。	18.9%	20.6%	18.2%	22.2%	19.8%	18.0%	**19.0%**

17	職場や地域で男女差別を感じていますか。	25.1%	26.5%	22.5%	27.7%	25.1%	23.7%	**25.4%**
18	男女共同参画の推進は、重要だと思いますか。 ※H30まで満足度・重要度調査の中の設問	33.4%	62.7%	64.5%	64.7%	67.3%	65.2%	**63.0%**
19	男女共同参画社会に向けた市の活動に満足していますか。 ※R3から追加	－	－	－	20.1%	17.7%	19.6%	**23.3%**
20	海外姉妹都市との訪問や受入などの国際交流活動に満足していますか。 ※R3から追加	－	－	－	13.8%	13.0%	14.1%	**15.2%**
21	仕事と生活のバランスが取れていると思いますか。	42.0%	39.5%	44.7%	44.5%	42.7%	39.1%	**41.5%**
22	地域の福祉サービスが安心して受けられると思いますか。	36.5%	40.5%	35.3%	37.7%	39.7%	37.5%	**42.2%**
23	地域で見守り、声かけなどの助け合いが行われていると感じますか。	－	36.9%	40.5%	38.8%	39.5%	34.0%	**37.5%**
24	南アルプス市は、子育てしやすいまちだと思いますか。 ※R3から「（安心して子育てができる環境が整っている）」を省略	53.2%	43.2%	45.2%	52.1%	50.9%	53.8%	**52.7%**
25	南アルプス市は、老後も安心して暮らせると思いますか。	42.0%	35.3%	37.6%	40.8%	40.4%	39.5%	**41.7%**
26	障がいのある方への声かけ、見守りなどを行なっていますか。	－	26.5%	24.4%	25.9%	25.8%	24.7%	**28.5%**
27	各種健康診断などの健康づくり対策に満足していますか。	59.8%	54.3%	52.0%	54.2%	56.5%	57.4%	**58.9%**

28	日常的に健康づくりをしていますか。	－	53.3%	52.8%	57.5%	52.5%	54.3%	**55.4%**
29	医療機関の救急医療体制に満足していますか。	41.5%	36.7%	39.9%	40.5%	40.2%	38.5%	**41.1%**
30	安心して医療が受けられると感じていますか。	－	48.8%	52.6%	54.0%	54.9%	54.7%	**55.5%**
31	普段の買い物で積極的に地元農産物を購入（地産地消）していますか。	57.5%	48.7%	51.0%	54.9%	52.1%	51.6%	**53.0%**
32	南アルプス市は、買い物に便利な地域だと思いますか。	54.2%	52.6%	60.4%	56.1%	56.6%	54.1%	**54.1%**
33	市内の道路の整備状況に満足していますか。	39.2%	46.1%	46.7%	46.5%	43.1%	41.6%	**42.5%**
34	市内の道路は、安全に利用できると感じますか。	－	44.6%	44.4%	44.8%	41.7%	43.2%	**44.8%**
35	道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じますか。	52.7%	53.2%	51.2%	50.7%	49.5%	47.3%	**48.4%**
36	路線バスなど公共交通機関の運行状況に満足していますか。	22.8%	14.0%	14.3%	14.0%	14.8%	13.2%	**12.6%**
37	公共交通で生活に必要な移動ができると思いますか。	－	12.5%	12.4%	14.0%	10.4%	9.4%	**11.8%**
38	市内の街並みや景観は、美しいと感じますか。	57.3%	45.2%	47.0%	49.9%	51.9%	48.3%	**51.1%**

39	市内の景観を守り、育てるための活動に関心がありますか。 ※H30まで「参加したいと思いますか」	36.9%	49.6%	49.9%	46.8%	49.9%	49.4%	**46.8%**
40	公園など子どもの遊び場の整備状況に満足していますか。	35.1%	30.3%	30.5%	31.6%	37.7%	34.5%	**36.4%**
41	南アルプス市は、住みやすい地域だと感じますか。	70.6%	62.5%	61.7%	70.1%	68.5%	66.8%	**65.9%**
42	南アルプス市に住み続けたいと思いますか。	－	67.0%	66.0%	74.2%	73.3%	71.6%	**69.8%**
43	水道の「水」は、おいしいと感じますか。	66.0%	68.1%	67.2%	67.2%	65.1%	68.6%	**70.9%**
44	水道の利用に不便を感じますか。	－	16.4%	16.0%	16.4%	13.1%	12.8%	**12.0%**
45	趣味や娯楽なども含め、生涯学習活動を行なっていますか。	29.4%	29.8%	30.6%	31.2%	24.8%	29.3%	**31.4%**
46	習慣的にスポーツやレクリエーション活動を行なっていますか。	34.1%	28.5%	30.5%	28.3%	24.0%	30.3%	**28.2%**
47	過去1年間に図書館や美術館などの市の文化施設を利用した方にお聞きします。市の文化施設は、利用しやすいと感じましたか。 ◆回答者(383件)のうちの割合	40.5%	35.5%	60.8%	57.0%	55.1%	53.9%	**54.6%**
48	過去1年間に体育館などの市のスポーツ施設を利用した方にお聞きします。市のスポーツ施設は、利用しやすいと感じましたか。 ◆回答者(304件)のうちの割合	26.1%	19.6%	42.5%	37.3%	38.1%	34.2%	**33.2%**
49	市内には守り伝えるべき豊かな歴史があると感じますか。	－	52.8%	58.5%	52.4%	55.6%	55.4%	**53.0%**

50	市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか。	81.6%	78.4%	76.3%	76.4%	77.6%	77.1%	**72.8%**
51	文化財や伝統芸能の保護や継承活動に満足していますか。	35.7%	34.5%	33.5%	34.6%	34.8%	33.8%	**34.4%**
52	小学校・中学校の教育の内容に満足していますか。	34.9%	27.4%	28.9%	30.7%	29.2%	29.4%	**30.3%**
53	地域の子どもたちに、あいさつや声かけなどを行なっていますか。	66.8%	61.4%	64.7%	65.5%	65.1%	60.5%	**61.1%**
54	家庭や地域において、健全育成のための青少年教育が行なわれていると感じますか。	30.4%	28.8%	34.7%	31.6%	33.2%	30.0%	**34.1%**
55	市役所が行なっている各種サービスに満足していますか。	47.3%	36.5%	36.6%	39.3%	37.8%	41.9%	**45.9%**
56	市役所の業務は、効率的に行なわれていると思いますか。	–	32.1%	34.7%	36.6%	36.5%	40.5%	**41.7%**
57	市役所の職員は、信頼できますか。	46.4%	45.8%	46.8%	48.7%	46.7%	50.4%	**50.1%**
58	「協働」や「協働のまちづくり」の意味をご存知ですか。	21.6%	12.5%	12.4%	10.7%	10.7%	9.5%	**12.6%**
59	ハザードマップなどで、お住まいの地域で考えられる災害時の危険性を認識していますか。	34.6%	32.3%	44.1%	51.1%	58.1%	53.8%	**47.0%**
60	平成26年6月に「南アルプス」がユネスコエコパークに登録されました。あなたはユネスコエコパークについてご存知ですか。	33.2%	31.9%	32.1%	30.2%	31.2%	32.4%	**34.5%**

61	「多文化共生社会」とはどのような社会かご存知ですか。	–	12.8%	13.7%	11.7%	14.1%	14.5%	**14.2%**
62	生活に困ったとき、市役所に相談窓口があることを知っていますか。	–	40.4%	43.2%	42.7%	44.5%	42.5%	**45.4%**
63	「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」の意味をご存知ですか。	57.0%	50.6%	53.5%	53.0%	53.4%	53.3%	**51.6%**
64	「幸せ実感！南アルプス市健康リーグ」をご存知ですか。	–	8.8%	12.3%	13.6%	12.3%	10.1%	**12.9%**
65	「SDGs」の意味をご存知ですか。 ※R3から追加	–	–	–	25.6%	52.8%	56.8%	**54.7%**
66	住宅用火災警報器を設置していますか。 ※現在、消防法や南アルプス市火災予防条例により、一般住宅などには、住宅用火災警報器等の設置が義務付けられています。また、設置から10年を経過した場合は、交換することが推奨されています。	73.9%	79.6%	75.0%	79.7%	79.7%	81.5%	**81.3%**
67	南アルプス（芦安・広河原周辺）を訪れたことがありますか。	–	49.7%	51.2%	50.0%	67.9%	71.0%	**70.3%**
68	櫛形山（伊奈ヶ湖周辺）を訪れたことがありますか。	–	83.9%	85.0%	85.7%	85.5%	84.5%	**83.2%**
69	子育て中の方にお聞きします。子育てについて気軽に相談できる相手や場所がありますか。 ◆回答者(173件＝子育て中の方)のうちの割合	–	64.1%	64.3%	66.7%	71.6%	60.6%	**65.9%**
70	過去１年間に、市内を走行している路線バスやコミュニティバスなどを利用したことがありますか。 ※令和2年度から追加	–	–	12.3%	9.5%	8.1%	10.8%	**11.8%**
71	過去１年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたりしたことがありますか。 ※H30までは「史跡探索や伝統芸能の体験活動をしましたか」（5択）	8.6%	27.8%	23.8%	23.0%	22.4%	20.7%	**24.3%**

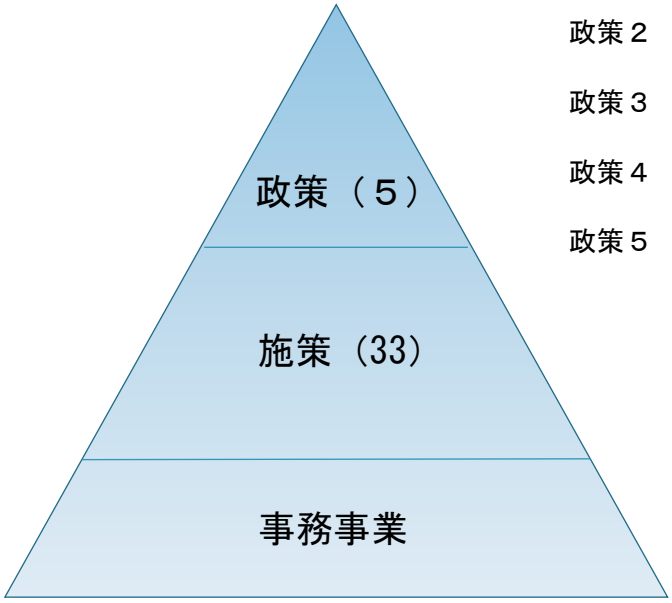
72	市役所の窓口は、利用しやすいと思いますか。	71.4%	72.5%	73.6%	76.0%	77.8%	80.5%	**79.2%**
73	市役所の窓口対応や電話対応に満足していますか。	71.4%	74.2%	72.5%	75.1%	77.5%	80.0%	**79.3%**
74	市役所に用事があるとき、本庁と支所、どちらを利用したいですか。 （選択肢　本庁／支所） ★「本庁」と回答した割合	－	39.5%	38.3%	41.1%	43.2%	46.3%	**44.6%**
74	市役所に用事があるとき、本庁と支所、どちらを利用したいですか。 （選択肢　本庁／支所） ★「支所」と回答した割合	－	58.0%	58.4%	55.5%	54.2%	51.1%	**52.6%**

３ 分野別でみる調査結果

◇第２次総合計画の政策体系

“第２次総合計画”の基本計画は、５つの政策（まちづくりの基本方針）と、それを実現するための「施策」、具体的な「事務事業」の３階層から組み立てられています。

次のページから、政策体系に基づき、分野別に調査結果を掲載します。



政策１　安全でみどり豊かな 人がつながるまちの形成

政策２　ともに生き支えあうまちの形成

政策３　うるおいと活力のある快適なまちの形成

政策４　心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

政策５　未来をひらく経営型行政運営の形成

＜基本計画＞

前期：平成 27 年度～令和元年度

後期：令和 2 年度～令和 6 年度

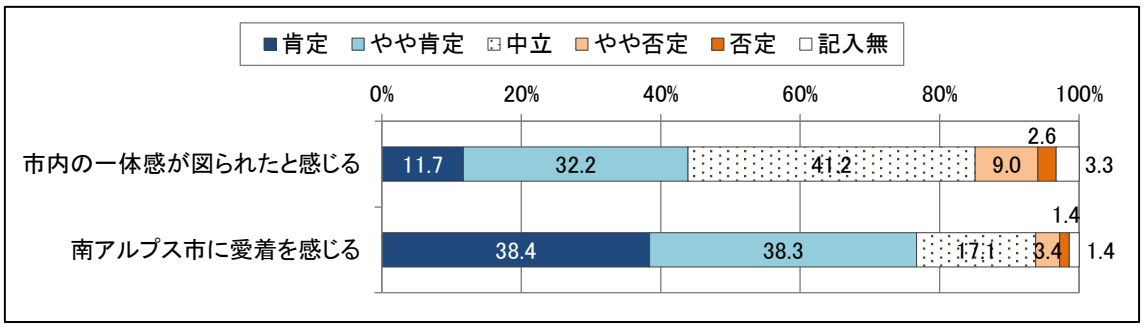
◇グラフの表示

調査結果を示す横棒グラフの区分と色は、次のとおりです。

（ＳＡ、有効回答者数の表記がない場合は、ｎ＝643）

グラフ区分 / 色 / 選択肢数	肯定	やや肯定	中立	やや否定	否定	記入無（白）
5択	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまり あてはまらない	あてはまらない	
3択	知っている	―	聞いたことがある	―	知らない	
2択	はい	―	―	―	いいえ	

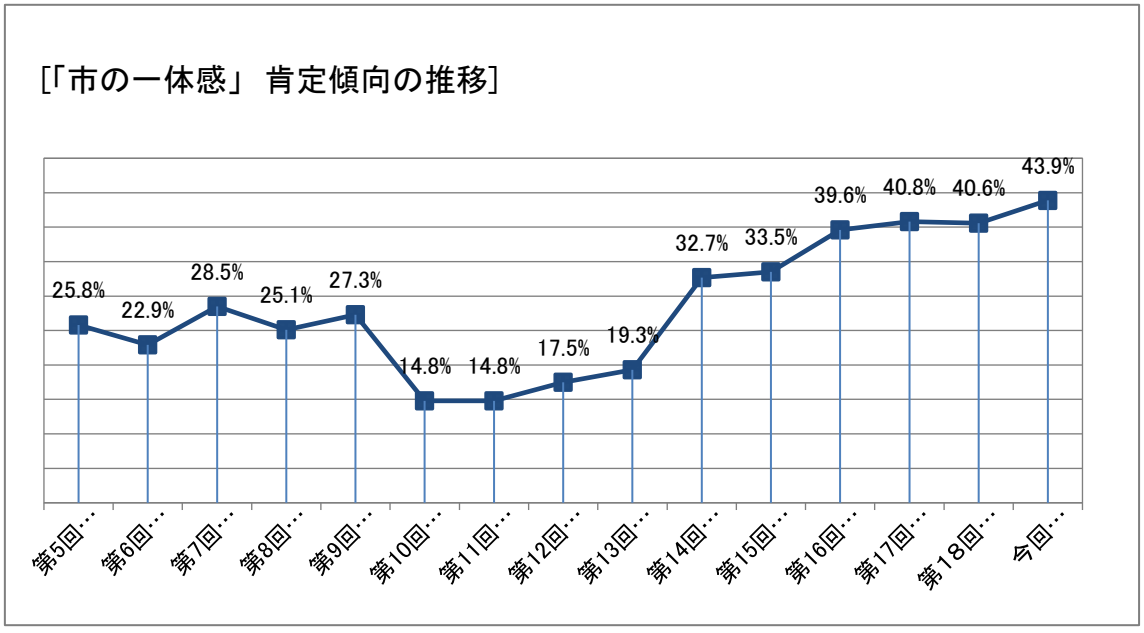
はじめに　～市内の一体感



「市内の一体感が図られたと感じる」は、平成 17 年度から継続している質問で、43.9%の方が「(やや)あてはまる」と回答しました。

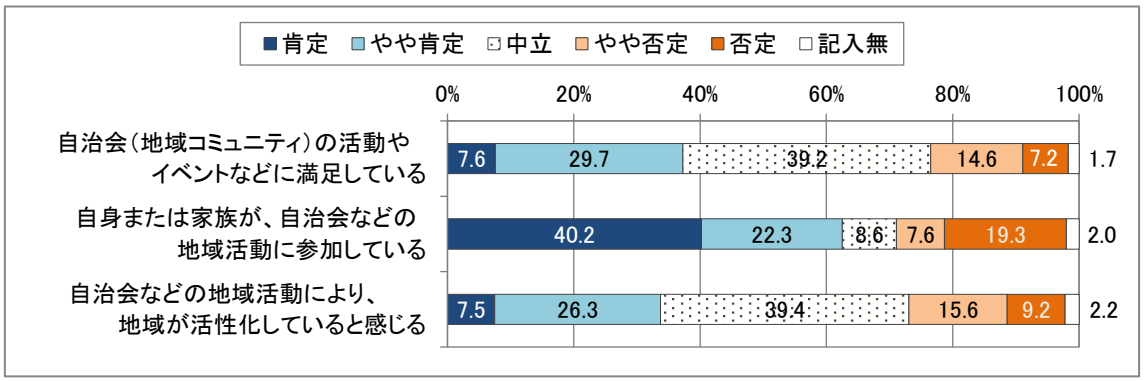
また、「南アルプス市に愛着を感じる」では、76.7%の方が「(やや)あてはまる」と回答しました。

平成 30 年に、「市のシンボル」として、市の木（モモ）・花（アヤメ）・鳥（ライチョウ）・山（北岳）が決定し、市役所本庁舎の増改築が完成するなど、平成 15 年の合併当初と比較すると「一体感が図られた」と感じる方が増えていると考えられます。



政策１　安全でみどり豊かな 人がつながるまちの形成

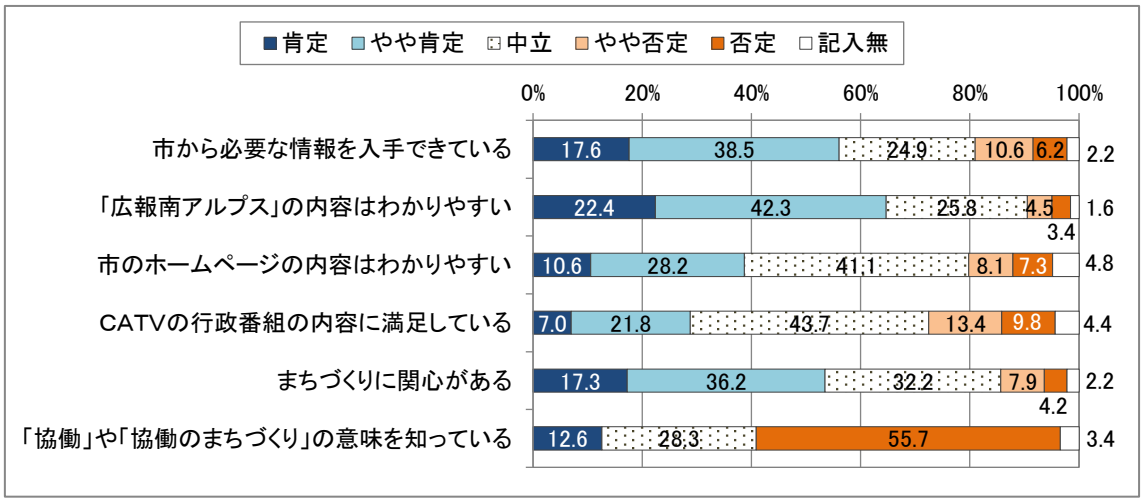
（１） 地域活動



「自治会などの地域活動」については、「（やや）満足している」と回答した方が37.3%、「本人または家族の誰かが自治会などの地域活動に（どちらかというと）参加している」と回答した方が62.5%でした。「自治会などの地域活動により、地域が活性化していると（やや）感じる」と回答した方は33.8%で、「どちらともいえない」は、「自治会の活動に満足」とともに約４割を占めました。

なお、「本人または家族の誰かが自治会などの地域活動に参加している」の居住地区別の肯定的回答割合は、「白根地区」「甲西地区」で約６割、「櫛形地区」「芦安地区」で約５割、「八田地区」「若草地区」は約４割でした。

（２） 市民参加

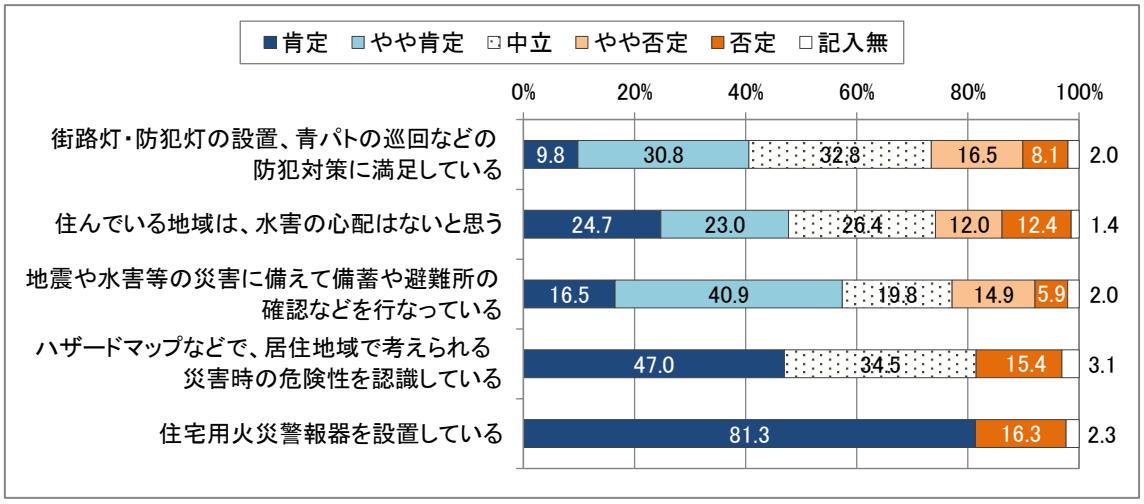


市民の市政への参加に欠かせない「広聴・広報」については、「市から必要な情報を入手できている」の肯定的回答が 56.1%で、否定的回答は 16.8%となりました。広報媒体別に見てみると、「広報南アルプスの内容はわかりやすい」の肯定的回答が 64.7%、「市のホームページはわかりやすい」の肯定的回答は 38.8%、「CATV の行政番組に満足」の肯定的回答は 28.8%となっています。

「まちづくりに関心が(やや)ある」と回答した方は 53.5%で「(あまり)ない」の 12.1%を上回りましたが、「どちらともいえない」も約３割を占めています。一方、「※協働のまちづくりについて知っている」では、55.7%の方が「知らない」と回答しました。

※協働のまちづくり・・・市民と行政がともにかかわりあいながら、「行政だけ」「市民だけ」ではなく、相互に連携し力をあわせてまちづくりを行うこと。また、市民が市政に積極的に参画していこうという意味も含まれる。

（３） 防災・防犯



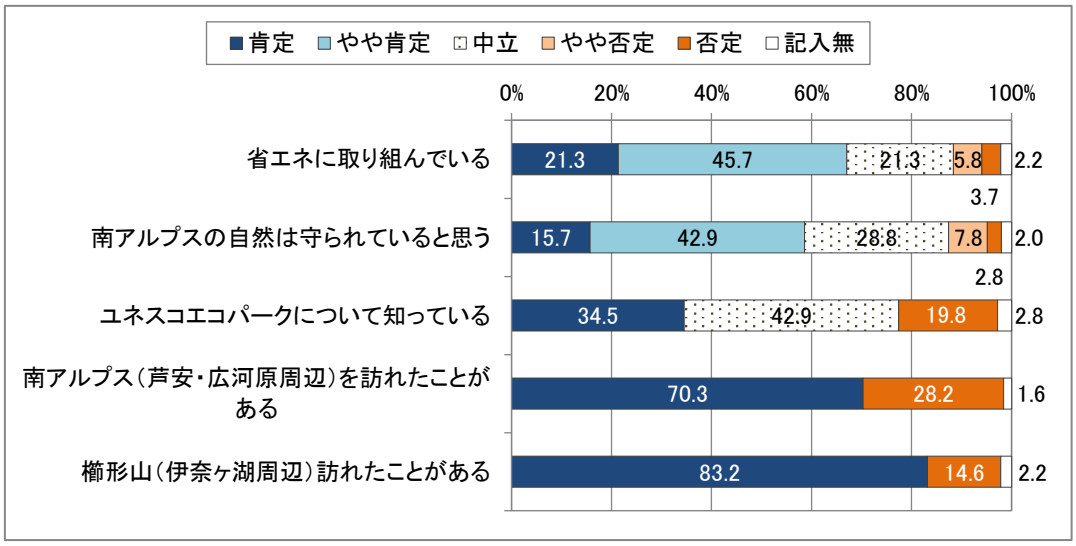
市の防犯対策である「街路灯や防犯灯の設置」「青色パトロールカーの巡回」などに「(やや)満足している」と回答した方は 40.6%でした。

防災に関しては、「住んでいる地域は、水害の心配はないと思う」では「(やや)思う」が 47.7%でした。「地震や水害等の災害に備えて備蓄や避難所の確認などを(どちらかといえば)行っている」と回答した方は 57.4%でした。また、「※ハザードマップなどで居住地域の災害の危険性を認識している」と回答した方は 47.0%でした。

火災に備え設置が義務付けられている「住宅用火災警報器」については、「設置している」と回答した方が前回の 81.5%とほぼ変わらず、81.3%でした。

※ハザードマップ・・・災害時の危険な地域や避難所などの情報を掲載した地図。
南アルプス市では、「洪水」「土砂災害」「地震」のハザードマップがある。

（４） 自然・環境



ユネスコエコパークについて知っている割合　推移

調査区分	知っている
第10回（H27）	39.4%
第11回（H28）	38.3%
第12回（H29）	32.3%
第13回（H30）	33.2%
第14回（R1）	31.9%
第15回（R2）	32.1%
第16回（R3）	30.2%
第17回（R4）	31.2%
第18回（R5）	32.4%
今回（R6）	34.5%

「※ユネスコエコパークについて知っている」と回答した方は、平成 26 年６月の登録後から約１年後の調査である平成 27 年度をピークに下降傾向にありますが、今回は前回より微増の 34.5%となっています。

「南アルプスの自然は守られていると思う」では、肯定的回答は 58.6%でした。「南アルプス（芦安・広河原周辺）を訪れたことがある」方は 70.3%、「櫛形山（伊奈ヶ湖周辺）を訪れたことがある」方は 83.2%でした。

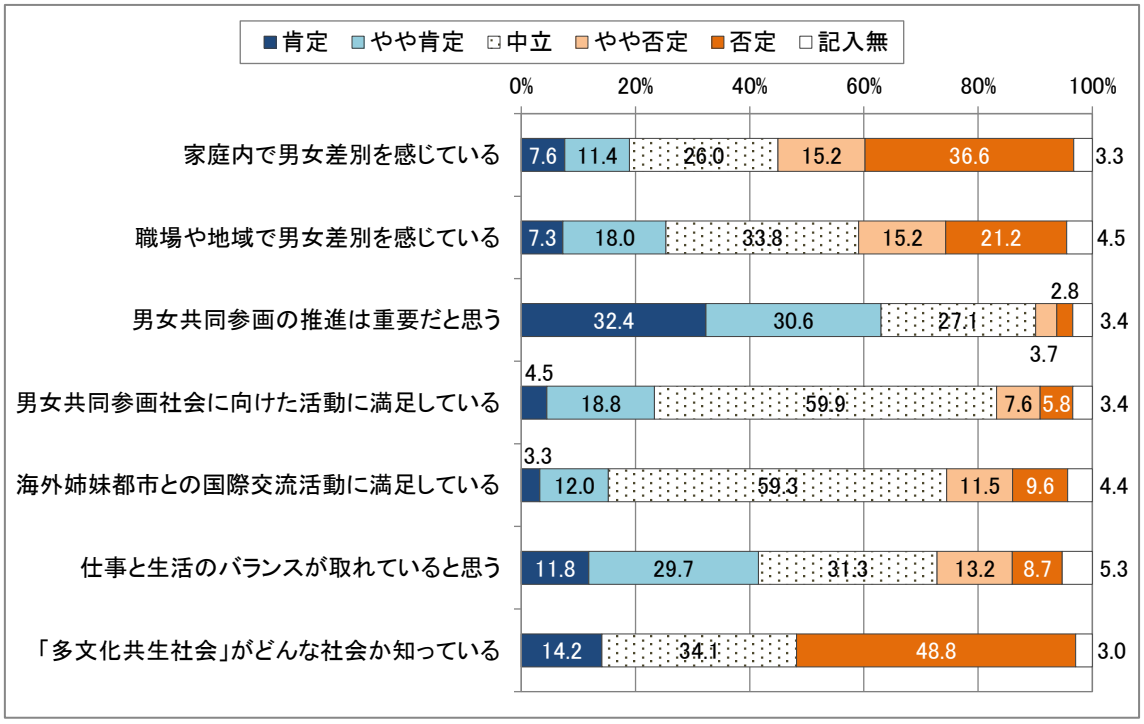
また、「省エネに（どちらかといえば）取り組んでいる」と回答した方は、67.0%でした。

※ユネスコエコパーク・・・ユネスコが登録する生物圏保存地域。
豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す取組。

南アルプス
ユネスコエコパーク

政策２　ともに生き支えあうまちの形成

（１）多様性の尊重



「男女差別を(やや)感じている」と回答した方は、「家庭」が 19.0%、「職場や地域」では 25.3%でした。男女別でみると、男性の回答者は「家庭」で 14.0%、「職場や地域」で 22.1%、女性の回答者は「家庭」で 22.8%、「職場や地域」で 27.8%と、女性の回答者のほうが男性の回答者より「男女差別を感じている」割合が高い結果でした。

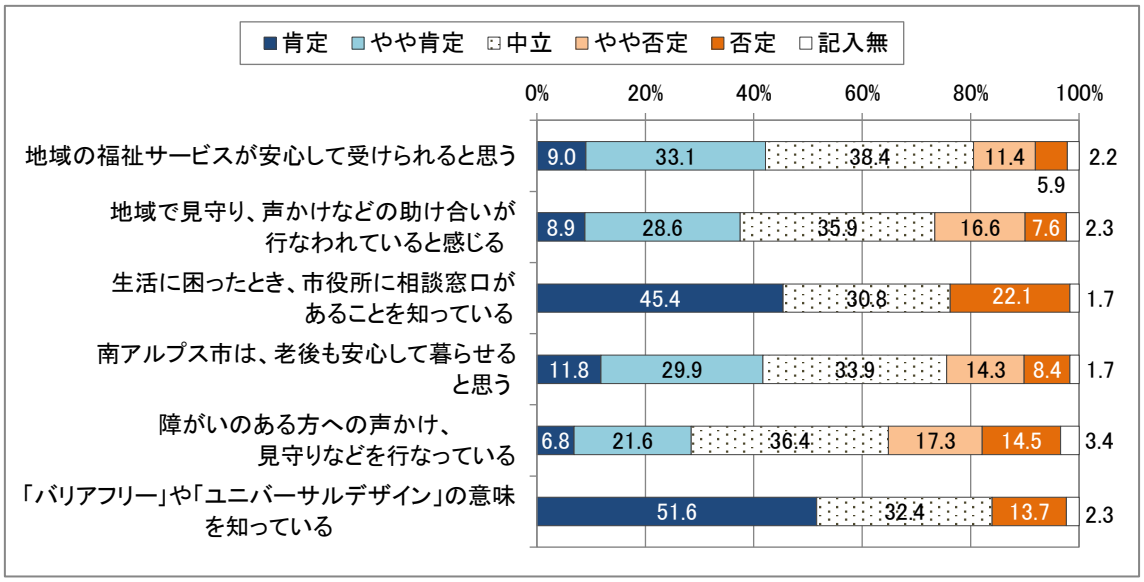
「男女共同参画の推進は重要だと思う」では６割以上の方が「(やや)思う」と回答しましが、「男女共同参画社会に向けた活動(やや)に満足している」と回答した方は約２割にとどまりました。また、男女共同参画の推進のためには、「仕事と生活のバランスが取れている」ことが求められますが、「(やや)取れていると思う」との回答は 41.5%でした。

「※多文化共生社会がどんな社会か知っている」と回答した方は 14.2%で、「知らない」との回答が半数を超えました。

「海外姉妹都市との交流活動に(やや)満足している」と回答した方は 15.3%でした。

※多文化共生社会・・・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、ともに生きていく社会。

（２）社会福祉



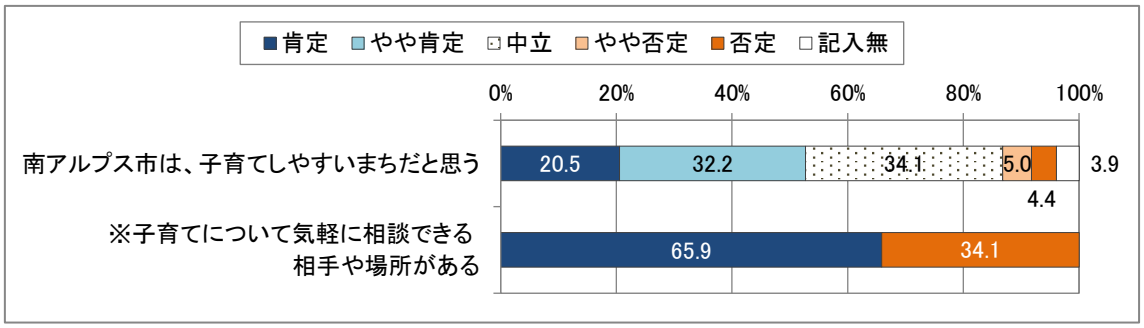
「地域の福祉サービスが安心して受けられると思う」では、「(やや)思う」が 42.1%、「(あまり)思わない」が 17.3%でした。「地域で見守り、声かけなどの助け合いが行われていると感じる」では、「(やや)思う」が 37.5%にとどまり、「(あまり)思わない」が 24.2%でした。また、「障がいのある方への声かけ、見守り」については「(あまり)行っていない」が 31.8%であり、「(やや)行っている」の 28.4%を上回りました。

「老後も安心して暮らせると思う」では「(やや)思う」が 41.7%で、「(あまり)思わない」が 22.7%でした。

「※バリアフリーやユニバーサルデザインの意味を知っている」では、「知っている」と回答した方が 51.6%である一方、13.7%の方が「知らない」と回答しました。

※バリアフリー・・・日常生活や社会生活における物理的、心理的な障害や、情報に関わる障壁を取り除いていくこと。
※ユニバーサルデザイン・・・障がいの有無、年齢、性別、国籍、人種等にかかわらずさまざまな人が気持ちよく使えるよう都市や生活環境を計画する考え方。

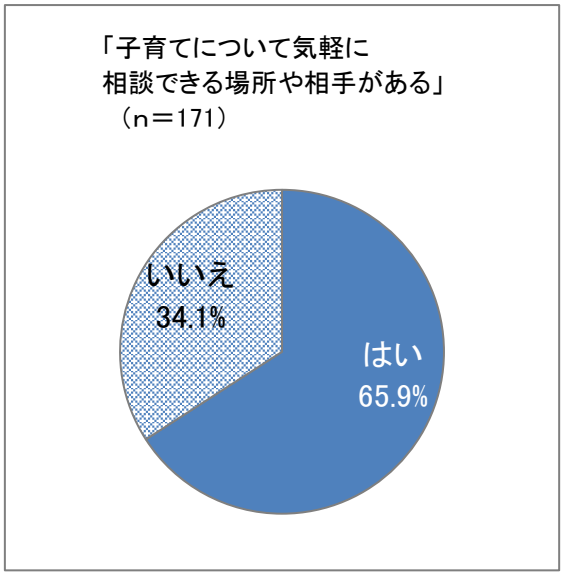
（３）子育て支援



※は子育て中の方への質問

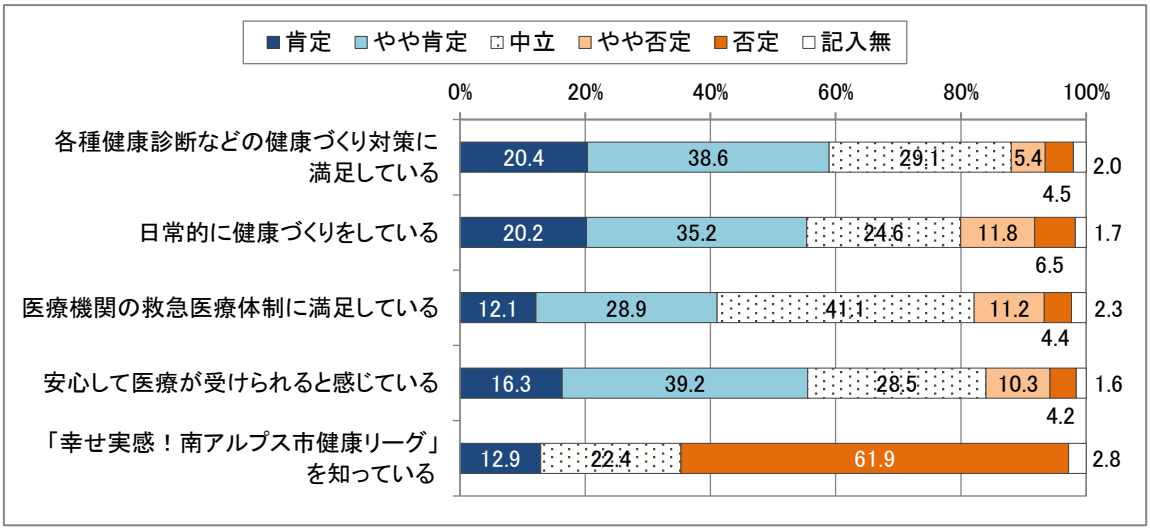
「南アルプス市は、子育てしやすいまちだと思う」では、「(やや)思う」と回答した方が約半数を占めました。

「子育て中の方にお聞きします。子育てについて気軽に相談できる相手や場所がありますか」では、回答した方（＝子育て中の方）は全体の 27.4%でした。本調査の回答者の家族構成は「未成年の子との二世代同居」と「三世代同居」を合わせて 22.8%であることからも、回答者のうち子育て中の方は約３割という結果でした。



「子育てについて気軽に相談できる相手や場所がある」に回答した方（＝子育て中の方）の内訳は、「はい」が 65.9%と６割以上を占めましたが、「いいえ」も 34.1%と少なくない状況です。

（４）健康・医療



「各種健康診断などの健康づくり対策」には「(やや)満足している」が 59.0%と半数以上を占めました。「日常的に健康づくりをしている」でも 55.4%の方が「(やや)あてはまる」と回答しましたが、「(あまり)あてはまらない」も 18.3%ありました。平成 29 年にスタートした「※幸せ実感！南アルプス市健康リーグ」については「知っている」が 12.9%で、「知らない」が 61.9%と半数以上を占めました。

「医療機関の救急医療体制」については、「(やや)満足している」が 41.0%、「安心して医療が受けられる」では「(やや)感じている」が約半数を占めました。

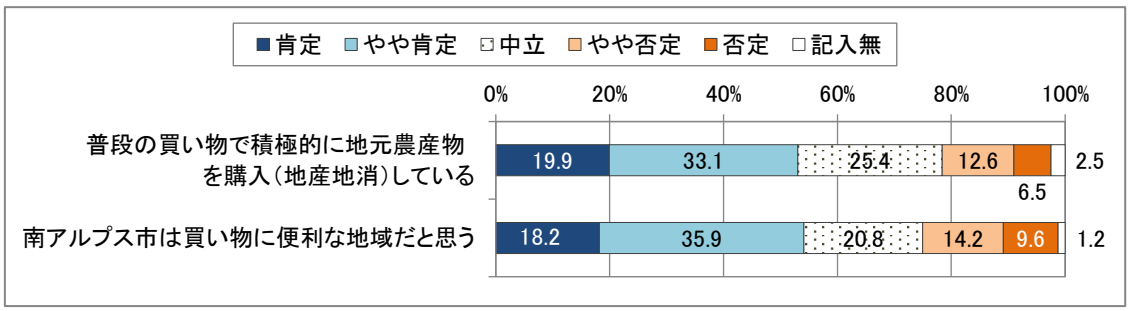
※幸せ実感！南アルプス市健康リーグ・・・

行政だけでなく、企業・団体・農協・商工会・地域などがひとつになって、市民の健康づくりに取り組み、健康からまちづくりを推進していこうとするつながり。

具体的には、市民の健康づくりに積極的に取り組む事業を提案し実践するグループ（企業・地域等）への支援や、市の健診（総合健診・人間ドック等）・健康リーグ協賛イベントでのポイント制の導入、健康わくわくウォークなどの事業を行っている。

政策３　うるおいと活力のある快適なまちの形成

（１）農業・商業



「普段の買い物で積極的に地元農産物を購入している」に「(やや)あてはまる」と回答した方は53.0%と約半数でした。

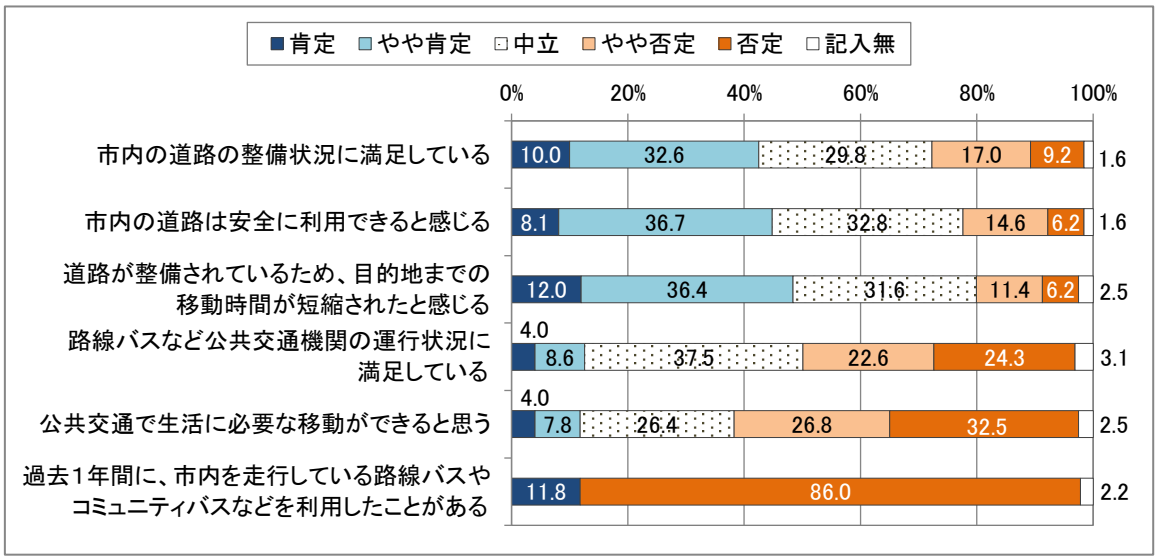
「南アルプス市は買い物に便利な地域だと思う」では、54.1%の方が「(やや)思う」と回答しました。

地元農産物の購入（地産地消） 推移

（単位:%）

調査区分	肯定的	否定的
第4回（H21）	47.0	17.9
第5回（H22）	46.1	32.8
第6回（H23）	52.9	24.8
第7回（H24）	51.3	22.8
第8回（H25）	46.0	28.6
第9回（H26）	50.4	20.2
第10回（H27）	53.0	19.9
第11回（H28）	54.1	18.9
第12回（H29）	55.6	16.8
第13回（H30）	57.5	18.4
第14回（R1）	48.7	23.4
第15回（R2）	51.0	18.5
第16回（R3）	55.0	16.4
第17回（R4）	52.1	15.4
第１８回（R5）	51.6	18.3
今回（R6）	53.0	19.1

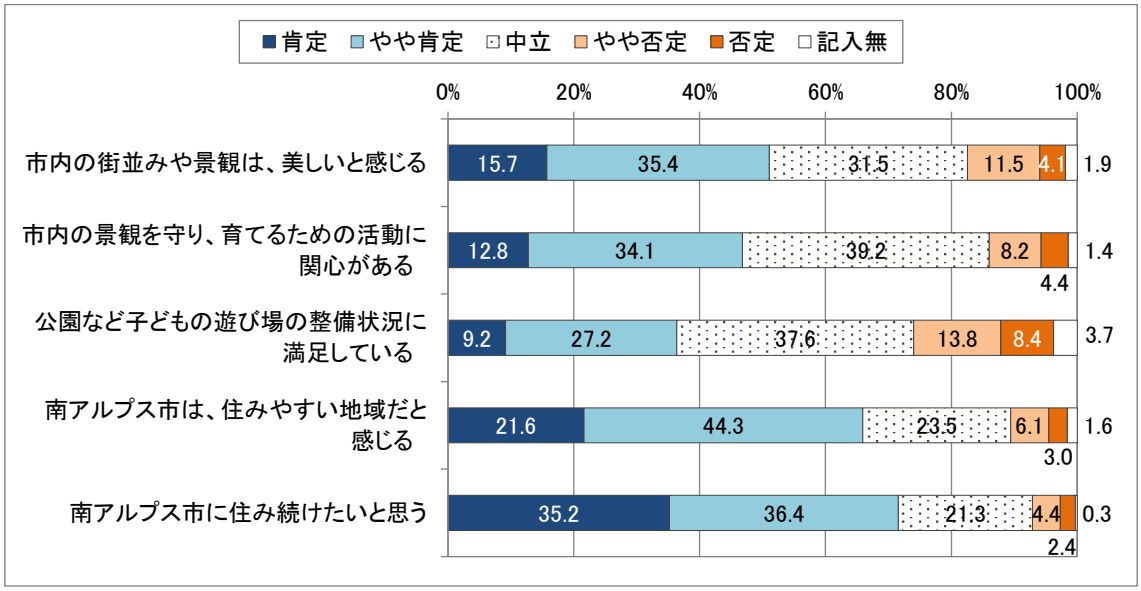
（２） 道路・交通



「市内の道路の整備状況に（やや）満足している」と回答した方は 42.6%、「市内の道路は安全に利用できると（やや）感じる」と回答した方は 44.8%でした。「道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じる」では、約半数の方が「（やや）感じる」と回答しました。

公共交通については、「路線バスなどの公共交通機関の運行状況に（やや）満足している」と回答した方が 12.6%で、「（あまり）満足していない」が 46.9%、「公共交通で生活に必要な移動ができる」では「（やや）あてはまる」が 11.8%、「（あまり）あてはまらない」が 59.3%と、２問とも否定的回答が肯定的回答を大きく上回りました。

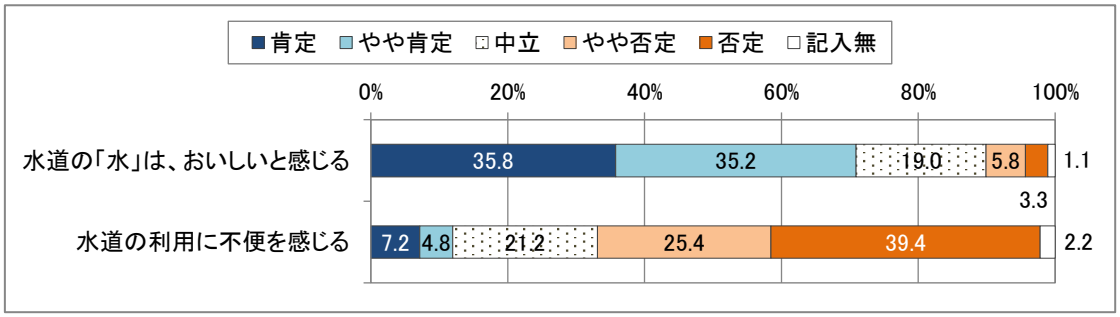
（３） 都市計画・住環境



「市内の街並みや景観は美しいと感じる」では、「(やや)感じる」がほぼ半数で、「(あまり)感じない」が 15.6%でした。また、「景観を守り、育てるための活動に(やや)関心がある」と回答した方についてもほぼ半数でした。一方、「公園など子どもの遊び場の整備状況に満足している」では、「(やや)満足している」が 36.4%、「(あまり)満足していない」が 22.2%でした。

住環境については、「南アルプス市は住みやすい地域だと感じる」、「南アルプス市に住み続けたいと思う」ともに、肯定的回答が約７割を占めました。

（４）水道



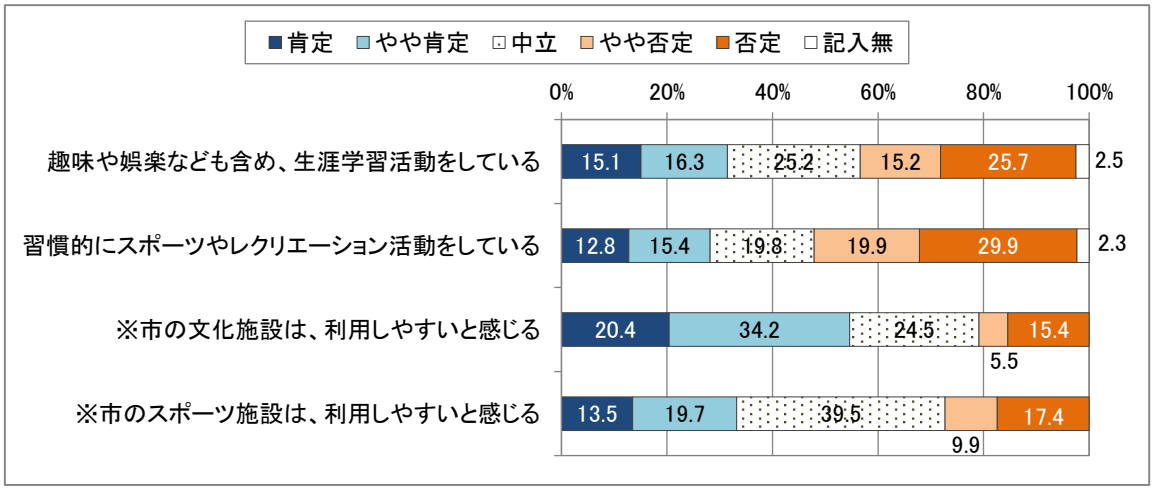
「水道の「水」はおいしいと感じますか」では、肯定的回答が約７割でした。

「水道の利用に不便を感じますか」では、６割を超える方が特に不便は感じていないという結果でしたが、「(やや)不便を感じる」との回答も 12.0%ありました。

なお、居住地区別の「水道の「水」はおいしいと感じますか」の肯定的回答割合は、「白根地区」77.0%、「櫛形地区」74.1%、「八田地区」82.0%、「芦安地区」71.4%、「甲西地区」69.7%、「若草地区」56.5%という結果でした。

政策４　心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

（１）生涯学習



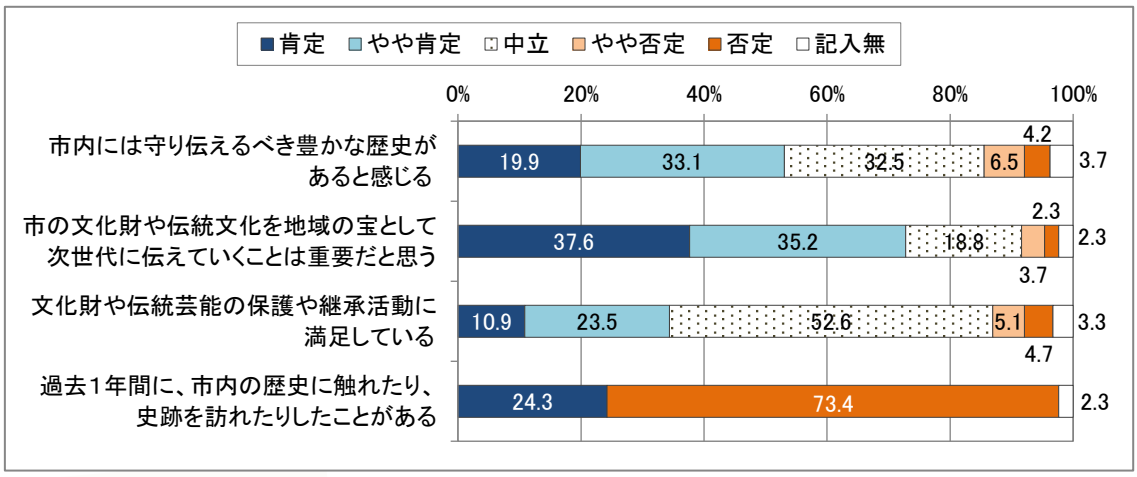
※は１年以内に利用した人への質問

「生涯学習活動」「スポーツ・レクリエーション活動」の実施については、いずれも「(やや)あてはまる」が約３割、「(あまり)あてはまらない」が約４～５割で、実施している方の割合は高くない状況です。

１年以内に施設を利用した人への質問である「文化施設」「スポーツ施設」の「利用しやすさ」については、回答した方（＝１年以内に利用した方）が「文化施設」、「スポーツ施設」ともに約５割でした。

「文化施設」「スポーツ施設」の「利用しやすさ」について回答した方（＝１年以内に利用した方）の回答内訳は、「(やや)利用しやすい」が「文化施設」では 54.6%、「スポーツ施設」では 33.2%で、双方とも「(あまり)利用しやすくない」（「文化施設」20.9%、「スポーツ施設」27.3%）を上回りました。

（２）歴史・伝統文化

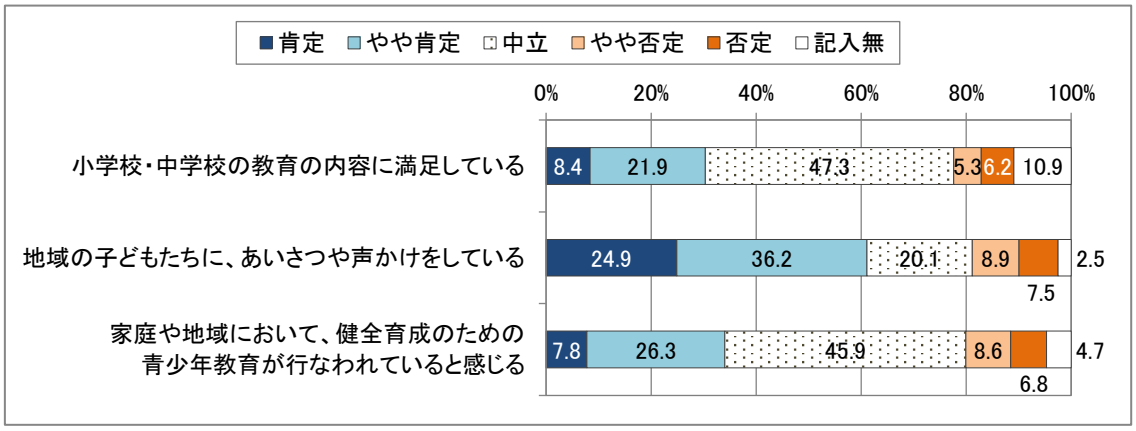


土偶キャラ「子宝の女神ラヴィ」

「市内には守り伝えるべき豊かな歴史がある」では、肯定的回答が半数以上を占め、「市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思う」に「(やや)思う」と回答した方は 72.8%でした。また、「文化財や伝統文化の保護や継承活動に満足」では、肯定的回答は 34.4%でした。

「過去１年間に市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたりしたことがある」では、「はい」が 24.3%で、「いいえ」が 73.4%でした。

（３）教育

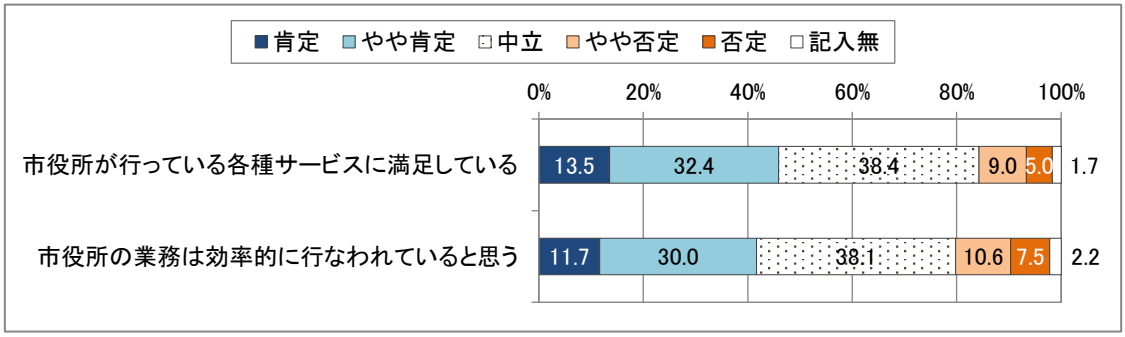


学校教育については、「小中学校の教育の内容」に「(やや)満足している」が 30.3%で、「どちらともいえない」が半数を占めましたが、家族構成が「未成年の子がいる二世代同居」の回答者に限ると肯定的回答が 52.3%で、否定的回答の 10.3%を上回りました。

青少年教育については、「地域の子どもたちに、あいさつや声かけ」を「(どちらかといえば)行っている」と回答した方が 61.1%、「家庭や地域において、健全育成のための青少年教育が行われている」では肯定的回答は約３割でした。

政策５　未来をひらく経営型行政運営の形成

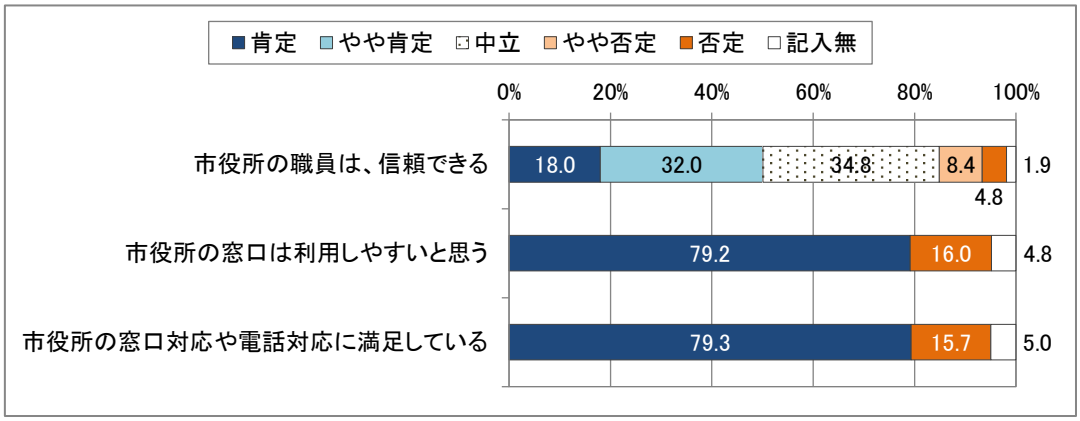
（１） 行政サービス



「市役所が行っている各種サービスに満足している」では「どちらともいえない」が最も多く、肯定的回答は 45.9%でした。

「市役所の業務は効率的に行われていると思う」についても、「どちらともいえない」が最も多く、肯定的回答は 41.7%と、市の業務に関する２つの質問は類似した結果でした。

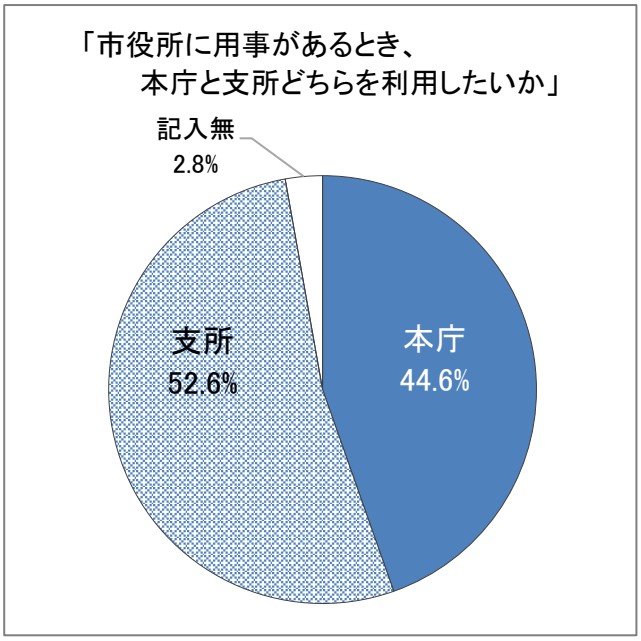
（２）窓口・接遇



「市の職員は信頼できる」に「信頼できる」と回答した方は 18.0%で、「(やや)信頼できる」を含めて 50.0%となりました。「市役所の窓口は利用しやすいと思う」「市役所の窓口対応や電話対応に満足している」では、２問とも「はい」が約８割、「いいえ」が約２割でした。

［市の職員は信頼できる　推移］（単位:%）

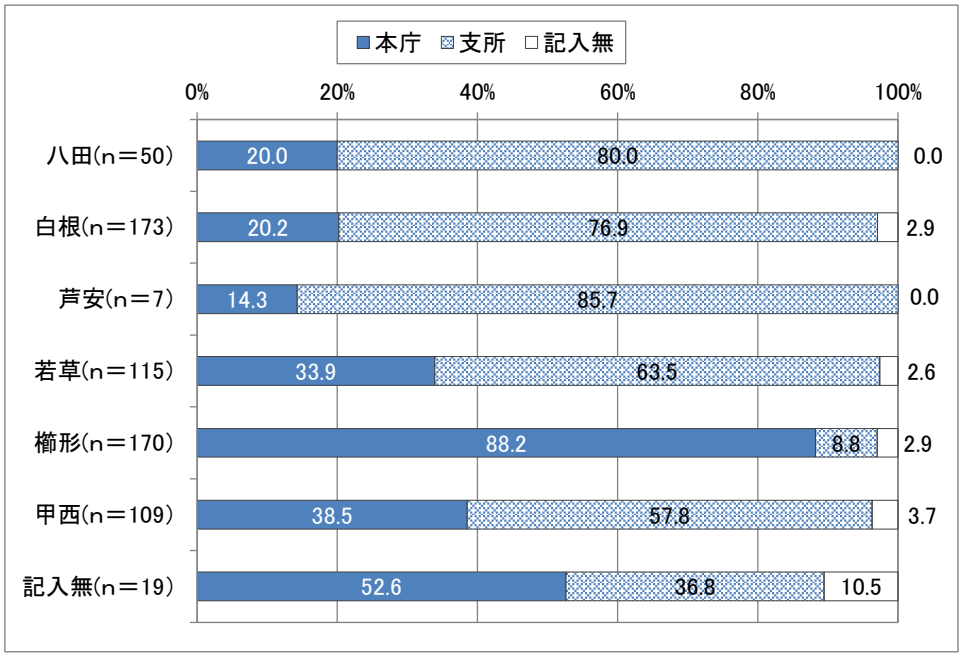
調査区分	肯定的	否定的
第5回(H22)	42.4	21.4
第6回(H23)	43.8	17.6
第7回(H24)	42.2	16.3
第8回(H25)	41.1	18.4
第9回(H26)	49.3	15.6
第10回(H27)	42.9	24.5
第11回(H28)	44.1	26.3
第12回(H29)	45.0	18.1
第13回(H30)	46.4	19.6
第14回(R1)	45.8	15.1
第15回(R2)	46.8	15.5
第16回(R3)	48.7	12.7
第17回(R4)	46.7	14.6
第18回(R5)	50.4	12.1
今回(R6)	50.0	13.2



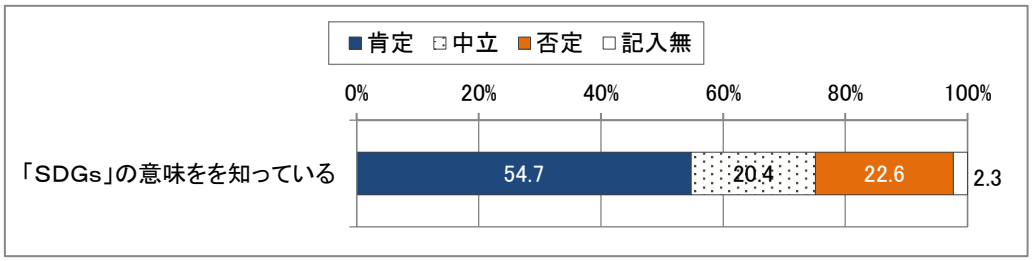
「市役所に用事があるとき、本庁と支所、どちらを利用したいですか」では、「本庁」が 44.6%、「支所」が 52.6%で、「支所」と回答した方が多い結果でした。

回答者の居住地区別でみると、本庁のある「櫛形地区」の回答者では「本庁」と答えた方が 88.2%と９割近くを占めており、「櫛形地区」以外の地域では「支所」と答えた方が「八田地区」で 80.0%、「白根地区」で 76.9%、「芦安地区」で 85.7%、「若草地区」で 63.5%、「甲西地区」で 57.8%でした。

◇「本庁と支所どちらを利用したいか」地区別結果



その他



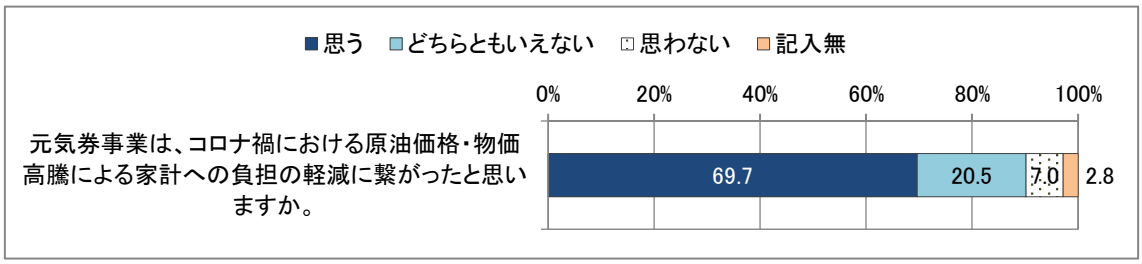
「※ＳＤＧｓの意味をご存知ですか」では、「知っている」と回答した方が 54.7%でした。

※ＳＤＧｓ・・・持続可能でより良い世界を目指すために、2015 年の国連サミットで採択された国際目標。17 のゴールと 169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念としている。

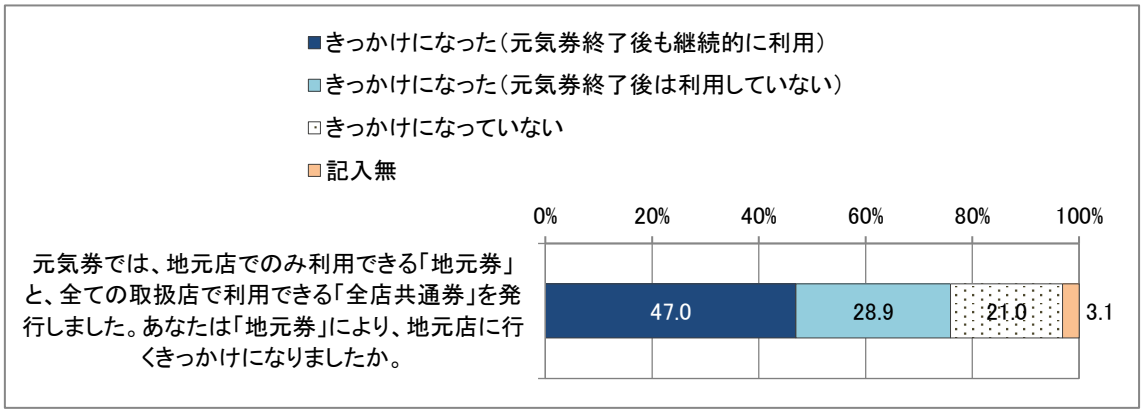
第３章　「元気券事業に関する調査」結果

南アルプス市では、原油価格・物価高騰に直面する生活者の支援及び地域経済の活性化を図ることを目的に元気券事業を実施しました。

元気券事業が家計への負担軽減に繋がり、また、地域経済の活性化に寄与したかを検証するため、本調査を実施しました。



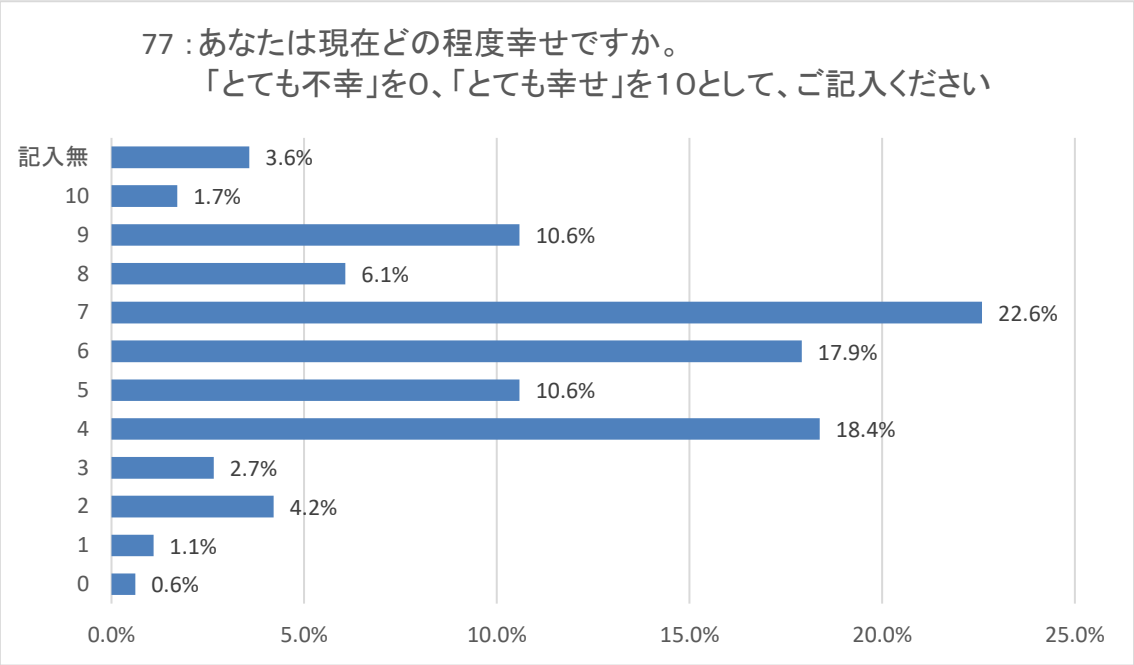
元気券事業が、「家計への負担軽減に繋がったか」という問いに対して、「繋がったと思う」方は 69.7%となり、原油価格・物価高騰に直面する生活者への一定の支援になったことが確認できます。



また、元気券のうち、地元店でのみ利用できる「地元券」の発行により、約８割の方が地元店を利用する「きっかけになった」と回答しており、約半数の方が元気券終了後も継続的に地元店を利用していると回答していることから、地域経済の活性化に一定の効果があったことを確認できます。

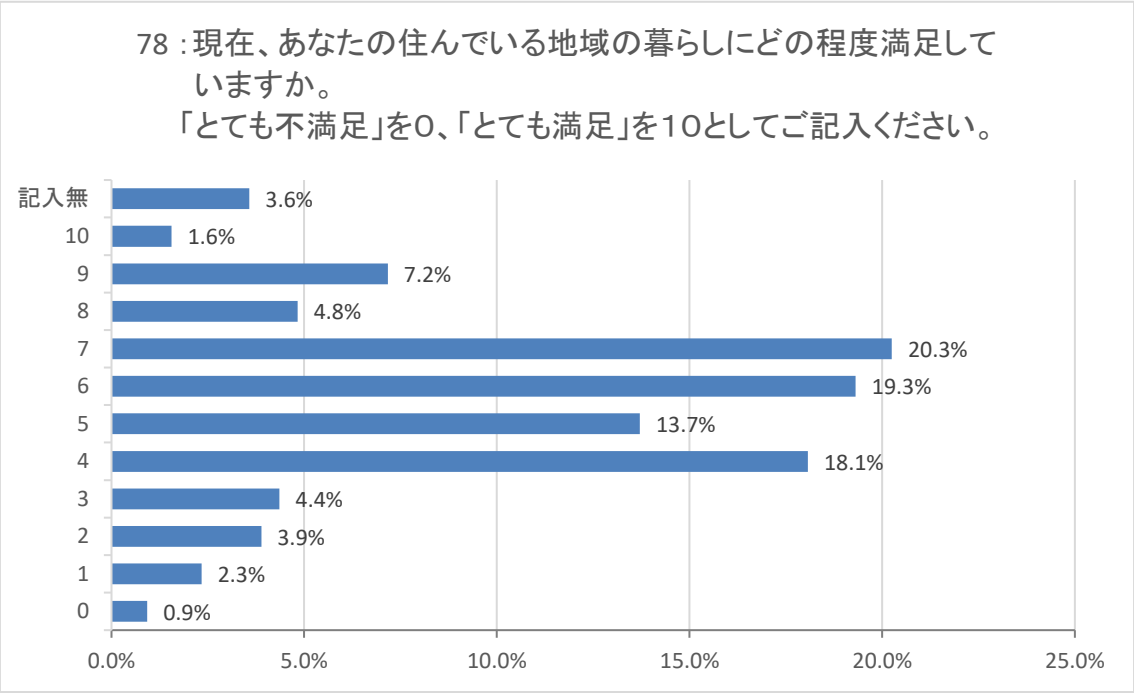
第４章　「市民の幸福度に関する調査」結果

南アルプス市では現在「第３次南アルプス市総合計画」を策定しております。総合計画の最大の目標は「市民の幸福度」を高めることであり、計画の最上位の成果指標として位置づけております。令和６年度より「市民の幸福度」を調査するため「市民の幸福度に関する調査」を項目に追加いたしました。

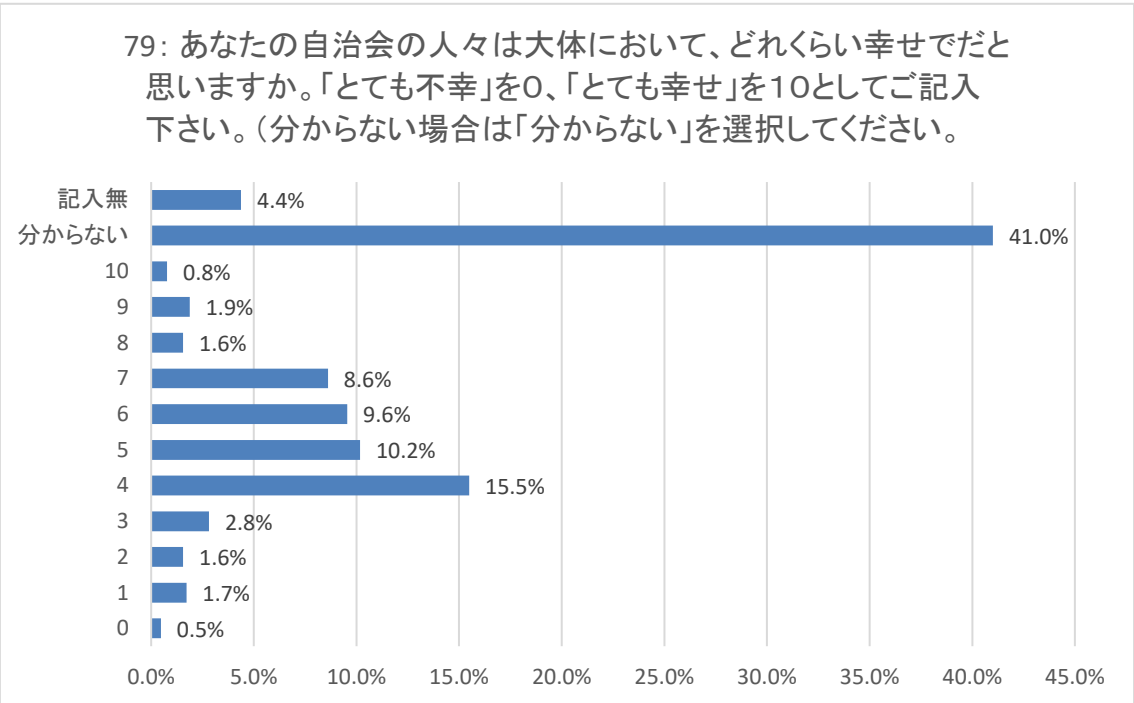


幸福度（０～１０の回答）の平均値は 6.74（小数点第３位を四捨五入）となり、令和５年度に実施した市民意識調査での回答の平均値は 6.76 とほぼ同じ値となっている。

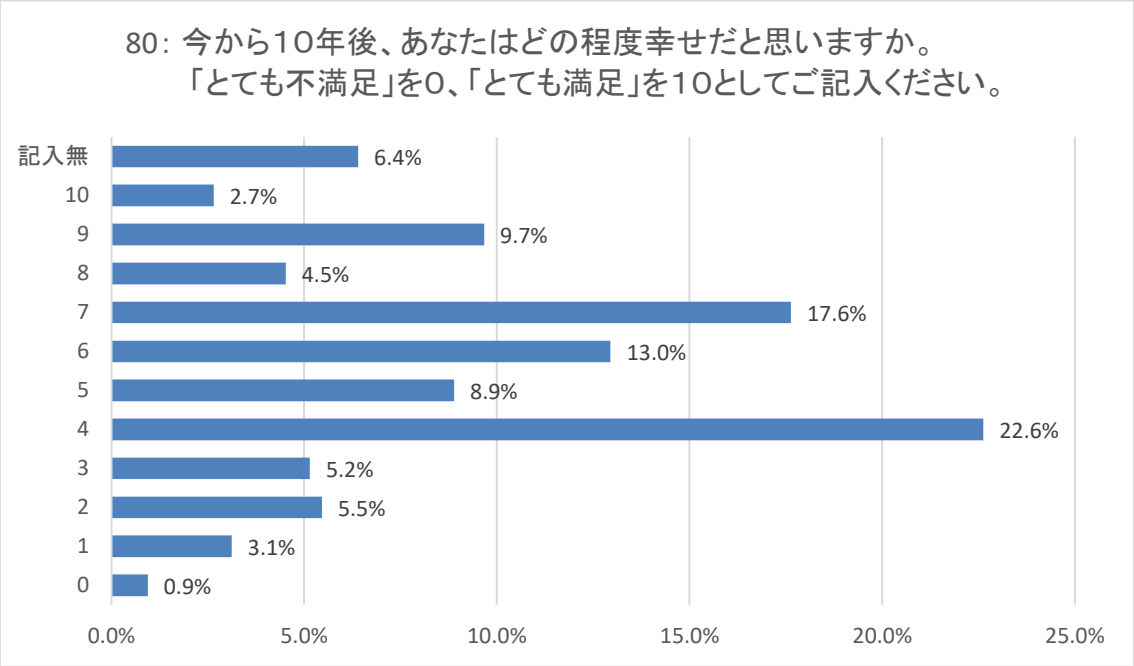
令和５年度の全国で実施された都道府県別の地域幸福度（Well-Being）調査のうち、山梨県における幸福度の平均値が 6.3 と、南アルプス市は県の平均値を上回っている。



満足度（０～１０の回答）の平均値は 6.44（小数点第 3 位を四捨五入）となり、令和 5 年度に実施した市民意識調査での回答の平均値は 6.41 とほぼ同じ値となっている。



幸福度（０～１０の回答）の平均値は 5.99（小数点第 3 位を四捨五入）となり、令和 5 年度に実施した市民意識調査での回答の平均値は 5.90 とほぼ同じ値となっている。



幸福度（０～１０の回答）の平均値は 6.21（小数点第 3 位を四捨五入）となり、令和 5 年度に実施した市民意識調査での回答の平均値は 6.28 とほぼ同じ値となっている。

◆設問一覧

項目	No.	質問内容	選択肢
属性調査	（1）	あなたの性別はどちらですか。	1　男性　　2　女性
	（2）	あなたは満年齢でおいくつですか（令和3年4月1日現在でお答えください）。	1 18～19歳　2 20～29歳　3 30～39歳　4 40～49歳 5 50～59歳　6 60～69歳　7 70～79歳　8 80歳以上
	（3）	あなたの家族構成は次のうちどれですか。	1 ひとり暮らし　2 夫婦のみ　3 未成年の子とその親(二世代同居) 4 成年の子とその親(二世代同居) ※成年の子に配偶者がいる場合を含む。 5 親と子と孫(三世代同居) ※それぞれ配偶者がいる場合を含む。 6 その他
	（4）	あなたの主な職業は次のうちどれですか。	1　農業・林業 2　自営の商工サービス業（建設業、サービス業、家族従業員を含む。） 3　開業医、弁護士、税理士、僧侶などの自由業 4　民間企業、事務所の会社員、従業員 5　官公庁、学校、公社公団、農協など公共的機関の職員 6　パート、アルバイト、内職 7　学生 8　主婦、主夫 9　無職 10　その他
	（5）	あなたのお住まいはどの地域ですか。	1 八田地区　2 白根地区　3 芦安地区 4 若草地区　5 櫛形地区　6 甲西地区
	（6）	あなたは南アルプス市にお住まいになって何年ですか。 （合併前の旧町村にお住まいの場合は、その期間も通算してください。）	1 1年未満　2 1年～5年　3 6年～10年 4 11年～20年　5 21年以上
市民アンケート調査	1	令和5年4月1日で南アルプス市誕生（合併）から18年となります。市内の一体感が図られたと感じますか。	1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 どちらともいえない 4 あまりあてはまらない 5 あてはまらない
	2	南アルプス市に愛着を感じていますか。	
	3	自治会（地域コミュニティ）の活動やイベントなどに満足していますか。	
	4	あなた自身またはご家族のどなたかが、自治会などの地域活動に参加していますか。	
	5	自治会などの地域活動により、地域が活性化していると感じますか。	
	6	市から必要な情報を入手できていますか。	
	7	「広報南アルプス」の内容はわかりやすいですか。	
	8	南アルプス市のホームページの内容はわかりやすいですか。	
	9	CATVの行政番組の内容に満足していますか。	
	10	まちづくりに関心がありますか。	
	11	街路灯や防犯灯の設置、青色パトロールカーの巡回などの防犯対策に満足していますか。	
	12	住んでいる地域は、水害の心配はないと思いますか。	
	13	地震や水害等の災害に備えて備蓄や避難所の確認などを行なっていますか。	
	14	省エネに取り組んでいますか。	
	15	南アルプスの自然は守られていると思いますか。	
	16	家庭内で男女差別を感じていますか。	
	17	職場や地域で男女差別を感じていますか。	
	18	男女共同参画の推進は重要だと思いますか。	
	19	男女共同参画社会に向けた市の活動に満足していますか。	
	20	海外姉妹都市との訪問や受入などの国際交流活動に満足していますか。	
	21	仕事と生活のバランスが取れていると思いますか。	
	22	地域の福祉サービスが安心して受けられると思いますか。	

項目	No.	質問内容	選択肢
市民アンケート調査	23	地域で見守り、声かけなどの助け合いが行なわれていると感じますか。	1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 どちらともいえない 4 あまりあてはまらない 5 あてはまらない
	24	南アルプス市は、子育てしやすいまちだと思いますか。	
	25	南アルプス市は、老後も安心して暮らせると思いますか。	
	26	障がいのあるかたへの声かけ、見守りなどを行なっていますか。	
	27	各種健康診断などの健康づくり対策に満足していますか。	
	28	日常的に健康づくりをしていますか。	
	29	医療機関の救急医療体制に満足していますか。	
	30	安心して医療が受けられると感じていますか。	
	31	普段の買い物で積極的に地元農産物を購入（地産地消）していますか。	
	32	南アルプス市は買い物に便利な地域だと思いますか。	
	33	市内の道路の整備状況に満足していますか。	
	34	市内の道路は安全に利用できると感じますか。	
	35	道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じますか。	
	36	路線バスなど公共交通機関の運行状況に満足していますか。	
	37	公共交通で生活に必要な移動ができると思いますか。	
	38	市内の街並みや景観は、美しいと感じますか。	
	39	市内の景観を守り、育てるための活動に関心がありますか。	
	40	公園など子どもの遊び場の整備状況に満足していますか。	
	41	南アルプス市は、住みやすい地域だと感じますか。	
	42	南アルプス市に住み続けたいと思いますか。	
	43	水道の「水」は、おいしいと感じますか。	
	44	水道の利用に不便を感じますか。	
	45	趣味や娯楽なども含め、生涯学習活動を行なっていますか。	
	46	習慣的にスポーツやレクリエーション活動を行なっていますか。	
	47	過去1年間に図書館や美術館などの市の文化施設を利用した方にお聞きします。市の文化施設は、利用しやすいと感じましたか。	
	48	過去1年間に体育館などの市のスポーツ施設を利用した方にお聞きします。市のスポーツ施設は、利用しやすいと感じましたか。	
	49	市内には守り伝えるべき豊かな歴史があると感じますか。	
	50	市の文化財や伝統文化を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか。	
	51	文化財や伝統芸能の保護や継承活動に満足していますか。	
	52	小学校・中学校の教育の内容に満足していますか。	
	53	地域の子どもたちに、あいさつや声かけなどを行なっていますか。	
	54	家庭や地域において、健全育成のための青少年教育が行なわれていると感じますか。	
	55	市役所が行なっている各種サービスに満足していますか。	
	56	市役所の業務は効率的に行なわれていると思いますか。	
	57	市役所の職員は、信頼できますか。	

項目	No.	質問内容	選択肢
市民アンケート調査	58	「協働」や「協働のまちづくり」の意味をご存知ですか。	1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない
	59	ハザードマップなどで、お住まいの地域で考えられる災害時の危険性を認識していますか。	
	60	平成26年6月に「南アルプス」がユネスコエコパークに登録されました。あなたは、ユネスコエコパークについてご存知ですか。	
	61	「多文化共生社会」とはどのような社会かご存知ですか。	
	62	生活に困ったとき、市役所に相談窓口があることを知っていますか。	
	63	「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」の意味をご存知ですか。	
	64	「幸せ実感！南アルプス市健康リーグ」をご存知ですか。	
	65	「SDGs」の意味をご存知ですか。	
	66	住宅用火災警報器を設置していますか。 ※現在、消防法や南アルプス市火災予防条例により、一般住宅などには、住宅用火災警報器等の設置が義務付けられています。 また、設置から10年を経過した場合は、交換することが推奨されています。	1 はい 2 いいえ
	67	南アルプス（芦安・広河原周辺）を訪れたことがありますか。	
	68	櫛形山（伊奈ヶ湖周辺）を訪れたことがありますか。	
	69	子育て中の方にお聞きします。子育てについて気軽に相談できる相手や場所がありますか。	
	70	過去1年間に、市内を走行している路線バスやコミュニティバスなどを利用したことがありますか。	
	71	過去1年間に、市内の歴史に触れたり、史跡を訪れたりしたことがありますか。	
	72	市役所の窓口は利用しやすいと思いますか。	
	73	市役所の窓口対応や電話対応に満足していますか。	
	74	市役所に用事があるとき、本庁と支所、どちらを利用したいですか。	1 本庁　2 支所
元気券事業調査	75	元気券事業は、コロナ禍における原油価格・物価高騰による家計への負担の軽減に繋がったと思いますか。	1. 思う 2. どちらともいえない 3. 思わない
	76	元気券では、地元店でのみ利用できる「地元券」と、全ての取扱店で利用できる「全店共通券」を発行しました。あなたは「地元券」により、地元店に行くきっかけになりましたか。	1. きっかけになった（元気券終了後も継続的に利用） 2. きっかけになった（元気券終了後は利用していない） 3. きっかけになっていない
幸福度調査	77	あなたは現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0、[とても幸せ]を10として、ご記入ください。	0「とても不幸」 ↑ ｜ ↓ 10「とても幸せ」 ※No.79のみ「分からない」の回答有
	78	現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても不満足」を0、「とても満足」を10としてご記入ください。	
	79	あなたの自治会の人々は大体において、どれくらい幸せでだと思いますか。「とても不幸」を0、「とても幸せ」を10としてご記入下さい。（分からない場合は「分からない」を選択してください。	
	80	今から10年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても不満足」を0、「とても満足」を10としてご記入ください。	

南アルプス市民憲章

緑かがやく自然を守り

なかよく美しい心を結び合い

未来にひらく豊かなまちをつくることを

アルプスの山々に誓います

令和６年度市民アンケート調査報告書
発行日　令和６年１２月
発　行　南アルプス市役所
〒400-0395　山梨県南アルプス市小笠原 376
TEL 055-282-1111（代）　FAX 055-282-1112
https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp
編　集　総合政策部政策推進課